

第二十二回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十七號

明治三十六年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件承諾ヲ求ムルノ件

會議(長報告)

(衆議院提出)

會議(長報告)

明治三十八年二月二十五日(土曜日)

午前十時七分開議

議事日程 第十七號 明治三十八年二月二十五日

第一 請願委員長報告

第二 外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第四 國稅徵收法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第六 擔保附社債信託法案(政府提出、衆議院同付)

第一讀會

第七 貴族院令中改正案(政府提出)

第一讀會

第八 貴族院令中改正案(政府提出、衆議院送付)

第一讀會

第九 明治三十五年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件承諾ヲ求ムルノ件(政府提出、衆議院送付)

會議(特別委員)

第十 明治三十五年度特別會計豫備金支出ノ件承諾ヲ求ムルノ件(政府提出、衆議院送付)

會議(特別委員)

第十一 明治三十五年度豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件承諾ヲ求ムルノ件(政府提出、衆議院送付)

會議(特別委員)

第十二 明治三十五年度豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件承諾ヲ求ムルノ件(政府提出、衆議院送付)

會議(特別委員)

第十三 明治三十六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件承諾ヲ求ムルノ件(政府提出、衆議院送付)

會議(特別委員)

第十四 明治三十六年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件承諾ヲ求ムルノ件(政府提出、衆議院送付)

會議(特別委員)

第十五 諸ノ求ムルノ件(政府提出、衆議院送付)

會議(長報告)

明治三十六年度清國事件第二豫備金支出ノ件承諾ヲ求ムルノ件

會議(長報告)

(衆議院提出)

會議(長報告)

明治二十九年法律第六十三號ノ有

會議(長報告)

明治三十六年度清國事件第二豫備金支出ノ件承諾ヲ求ムルノ件

會議(長報告)

第三十四	邦土開放ニ關シ法令廢止及創定ノ請願	議
第二十五	水利組合條例改正ノ請願	議
第三十六	旱害地租特別免除ノ請願	議
第三十七	裁判所存置並裁判管轄變更ノ請願	議
第三十八	足尾銅山鑛毒地方特別地價修正ノ請願	議
第三十九	韓國ニ於ケル人命及財產ノ損害賠償ヲ求ムルノ請願	議
第四十	山林稅ニ關スル請願	議
第四十一	製茶販路擴張費國庫補助繼續ノ請願	議
第四十二	青森市水道敷設費國庫補助ノ請願	議
第四十三	潮風被害地地租免除ニ關スル請願	議
第四十四	鹽取扱所設置ノ請願	議
第四十五	特別地價修正ノ請願	議
第四十六	市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正ノ請願	議
第四十七	栃木縣下都賀郡谷中村強制買收禁止ノ請願	議
第四十八	日本海ノ沿岸ニ鐵道敷設ノ請願	議
第四十九	矢作川改修ノ請願	議
第五十	小學校教科用圖書翻刻發行規則改正ノ請願	議
○議長(公爵德川家達君)	諸般ノ報告ハ本日モ朗讀ヲ省略イタシマシテ速記録ニ掲ゲルコトニ致シマス	議
〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經ザルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕		
一去ル二十三日可決シタル左ノ議案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ナ奏請シ同時ニ可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ		
賣藥稅法案(政府提出)		
裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(政府提出)		
裁判所構成法中改正法律案(衆議院提出)		
又同日承諾スルコトヲ議決シタル左ノ政府提出案ハ即日内閣總理大臣ヲ經由シテ之ヲ奏上シ同時ニ承諾スルコトヲ議決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ		
明治三十七年勅令第百七十七號(承諾ヲ求ムルノ件)		

一同日可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ
戸主ニ非サル者爵ヲ授ケラレタル場合ニ關スル法律案

醫師免許規則中改正法律案

一同日修正議決シタル左ノ衆議院提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ回付セリ

外國ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券證券偽造變造及模造ニ關スル法律案

一同日左ノ衆議院提出案ニ對シ第二讀會ナ開カサルコトヲ議決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

土地收用法中改正法律案

國有土地森林原野下戻申請期間ニ關スル法律案

一同日議員伯爵柳澤保惠君外一名ヨリ四十八名ノ賛成ヲ以テ左ノ議案ヲ提出セリ

東京市區改正土地建物處分規則中改正法律案

一同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

外國裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法案

國稅徵收法中改正法律案

又同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

所得稅免除ニ關スル法律案

刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案

一同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ本院ノ議決ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

日本勸業銀行法中改正法律案

工場抵當法案

鑛業抵當法案

一同日衆議院ヨリ本院ノ送付ニ係ル左ノ政府提出案ノ回付ヲ受ケタリ
擔保附社債信託法案

一同日特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ

貴族院令中改正案特別委員會

委員長 侯爵菊亭 修季君 副委員長 伯爵德川 達孝君

同一日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

明治三十五年度豫備金支出ノ件外九件可決報告書

行政執行法中改正法律案否決報告書

貴族院令中改正案可決報告書

一同日貴族院令中改正案特別委員伯爵德川達孝君外五名ヨリ同案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見ヲ提出セリ
一昨二十四日特別委員會ニ於テ當選シタル委員長及副委員長ノ氏名左ノ如シ

明治二十九年法律第六十三號ノ有效期間ニ關スル法律案特別委員會

委員長 侯爵黒田長成君 副委員長 伯爵正親町實正君

居留民團法案特別委員會

委員長 伯爵柳澤保惠君 副委員長 男爵小早川四郎君

傳染病豫防法中改正法律案特別委員會

委員長 侯爵佐竹義生君 副委員長 男爵石黒忠惠君

家祿賞典祿處分法中改正法律案特別委員會

委員長 子爵稻垣太祥君 副委員長 時任爲基君

畜牛結核病豫防法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵島津忠亮君 副委員長 馬屋原彰君

同一同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

明治二十九年法律第六十九號ノ有效期間ニ關スル法律案可決報告書

居留民團法案可決報告書

傳染病豫防法中改正法律案可決報告書

家祿賞典祿處分法中改正法律案可決報告書

會計法中改正法律案否決報告書

災害地地租免除ニ關スル法律案否決報告書

請願委員會特別報告第三號

○議長(公爵德川家達君) 本日ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第一、請願

委員長報告、請願委員長德川伯爵

(「伯爵德川達孝君演壇ニ登ル」)

○伯爵德川達孝君 是ヨリ請願委員會ノ經過ヲ御報道申上ダマス、前會即チ

去月ノ二十六日ニ御報告ヲ申上ダマシタ後、委員會ヲ開イタコトガ六回デゴザイマス、昨日マデニ受取リマシタ所ノ請願ノ總數ハ五十八通ゴザイマス、其中ニ院議ニ付スベキモノト議決イタシマシタモノガ十六通、院議ニ付スル

チ要セズト議決ナ致シマシタモノガ二十四通、文書表ニマダ掲載スルコトモ出來ズニ居ル所ノモノガ八通、合セテ五十八通デゴザイマス、文書表ハ第七回マデ作リマシテ議長ノ所マデ報告ナ致シテ置キマシタ、特別報告ハ第三號マデ作リマシタ、是モ議長ノ所マデ差出シテ置キマシタ、本日ノ議事日程ニ上ボッテ居ル所ノ請願ハ即チ第一號ト第二號ノ分デゴザイマス、此第一號ノ

分ハ此前ニ御報告シタトキハ再び審議チ要スル點ガゴザイマシテ延期イタシマシタ、其後尙審査ヲ遂ゲマシテ今日此議事日程ニ上ボッテ居ル如クニナッタ次第デゴザイマス、ソレデ今期議會ノ開會以來受取リマシタ所ノ請願ノ數チ總括イタセバ丁度百九十四通ニナッテ居ルノデアリマス、其中院議ニ付スベシト議決シタルモノガ六十一通、院議ニ付スルチ要セズト議決シタルモノガ八百二十四通、却下ニ決シタルモノガ一通、文書表ニ掲載ニ至ラナイモノガ八通、右申シマシタ通デゴザイマスカラ、ドウカ左様御承知チ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二ニ移リマス、外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十八年二月二十三日 衆議院議長松田正久
貴族院議長公爵德川家達殿
外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法案

第一條 裁判所ハ外國裁判所ノ囑託ニ因リ民事及刑事ノ訴訟事件ニ關スル書類ノ送達及證據調ニ付法律上ノ輔助チ爲ス
法律上ノ輔助ハ所要ノ事務ヲ取扱フヘキ地ヲ管轄スル區裁判所ニ於テ之ヲ爲ス

第二條 受託事項カ他ノ裁判所ノ管轄ニ屬スルトキハ受託裁判所ハ囑託チ

管轄裁判所ニ移送スヘシ
第三條 受託事項ハ日本ノ法律ニ依リ之ヲ施行スヘシ
第四條 囑託ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ拒絶スヘシ
一 日本ノ法律ニ依レハ受託事項カ其ノ施行ヲ許スヘキモノニ非サルト

爲スコト能ハサルトキ

三 相互條件ノ存セサルトキ

〔政府委員石井菊次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石井菊次郎君) 共助法案ヲ提出イタシマシタル理由ノ概略ヲ申上ゲマス、現行法ニ依リマスルト外國ノ裁判所ト帝國ノ裁判所トノ間ニ司法上ノ共助ニ關シテハ不備ノ點ガゴザリマシテ、其一部ハ全ク不備ニナツテ居ルノデゴザイマス、ト申シマスルノハ書類ノ送達若クハ證據調等ノコトヲ外國ニ於テ爲スノ必要ガアリマシタ時ニハ、帝國裁判所ハ外國官廳若クハ其國駐在ノ公使及領事ニ嘱託ナシテ之ヲ爲スコトヲ得ルト云フ規定ハ、我が民事訴訟法ニゴザリマスルガ、一方ニ於テ外國ノ裁判所ニ係屬シテ居リマスル事件ニ付テ書類ノ送達又ハ證據調ナ帝國ニ於テ爲スノ必要ガゴザリマシテ、其外國ノ裁判所ヨリ帝國裁判所ニ嘱託ノアリマシタ場合ニ、帝國裁判所ハ之ニ應ズルノ規定ガゴザリマセヌ、故ニ今日ノ現行法デハ帝國裁判所ハ外國裁判所ニ向ツテ嘱託ナ爲スコトハ出來ル、ケレドモ外國裁判所ニ嘱託ニ應ズルコトハ出來ナイト云フコトニナツテ居ルノデゴザリマス、而シテ此國際間ノ司法上ノ事務ハ證據ヲ以テ必要ノ條件ト常ニ致シテ居リマスカラ、帝國裁判所デ外國裁判所ノ嘱託ニ應ズルコトノ出來ナイト云フ結果ト致シマシテ、外國ノ裁判所モ亦帝國裁判所ノ嘱託ニ應ズルコトハ致シマセヌ、之ガ爲ニ帝國裁判所若クハ訴訟當事人、利害關係者ト云フモノハ少カラザル不便ヲ感シツ、アルノデゴザイマス、此不便不利益ト云フモノハ交通が頻繁ニナツテ參リマシテ本案ヲ提出シタ次第デゴザリマス、御協賛ヲ願ヒマス

○奥山政敬君 チヨツト質問ナ致シタイ、第四條ノ第二ノ場合デスガ、「第二條ノ手續ヲ爲スコト能ハサルトキ」ト云フコトハ最モ目下ノ緊急ノコトト認メマシテ本案ヲ提出シタ次第デゴザリマス、御協賛ヲ願ヒマス

〔政府委員石井菊次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石井菊次郎君) 御答ナ致シマスガ、第四條ノ第一項ノ「日本ノ法律ニ依レハ受託事項カ其ノ施行ヲ許スヘキモノニ非サルトキ」ト云フ、是ハ……

○奥山政敬君 イヤ、御尋スルノハソレデハアリマセヌ、第二デス、「第二條ノ手續ヲ爲スコト能ハサルトキ」ト云フコトガアリマスガ、ソレハドウ云フ

ノ手續ヲ爲スコト能ハサルトキ」ト云フコトガアリマスカ

○政府委員(石井菊次郎君) 此第二項ノ「第二條ノ手續ヲ爲スコト能ハサルトキ」ト云フノハ例ヘバ訴狀ノ送達トカ若クハ證據調ト云フノデ、必要ナル人ハ甲ノ裁判所ノ管下ニ居ルト云フコトヲ想像イタシマシテ、其所ヘ書類ヲヤル、其人ガイツノ間ニカ乙ノ管轄ノ地方ヘ移ツタト云フノデ、又乙ノ方ヘ回シテ見マシタ所ガ、是ハ外國ヘ行ツタトカ若クハ其所在ガ知レヌト云フノデ、書類ノ送達モ出來マセヌシ、又證據調ノ爲ニ出廷ナ命ズルト云フコトモ出來ナイト云フヤウナ場合ナ指シタノデアリマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセネバ次ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第三、特別委員ノ選舉……此選舉ハ本院ノ規則ニ依リマシテ本議場デ選舉ニナリマスカ、ドウナリマスカ

○子爵平松時厚君 是ハ矢張リ議長ニ御任セナ致シタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 議長ガ選定スルノデスカ

○子爵平松時厚君 議長ニ御選定ナ願ヒタウゴザイマス

○伯爵大原重朝君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 委員ノ選定ハ議長ガ致シテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ議長ガ選定イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第四、國稅徵收法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

國稅徵收法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治三十八年二月二十三日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵德川家達殿

國稅徵收法中改正法律案

國稅徵收法中改正法律案

第四條ノ八中「書類ノ受取ヲ拒ミタルトキ」ノ下ニ「又ハ帝國內ニ住所、居所アラサルトキ」ヲ加フ

第二十二條ニ左ノ一項ヲ加フ

差押物件ノ保管證ニ關シテハ印紙稅ヲ納ムルコトヲ要セス

第二十三條ノ二 債權及所有權以外ノ財產權ノ差押ヲ爲ストキハ收稅官吏ハ之ヲ其ノ權利者ニ通知スヘシ

前項ノ財產權ニシテ其ノ移轉ニ付登記又ハ登錄ヲ要スルモノニ在リテハ

差押ノ登記又ハ登錄ヲ關係官廳ニ囑託スヘシ其ノ抹消又ハ變更ニ付テモ亦同シ

第二十三條ノ三 不動產又ハ船舶ヲ差押ヘタルトキハ收稅官吏ハ差押ノ登記ヲ所轄登記所ニ囑託スヘシ其ノ抹消又ハ變更ノ登記ニ付テモ亦同シ

差押ノ爲不動產ノ分割又ハ區分シタルトキハ收稅官吏ハ分割又ハ區分ノ登記ヲ所轄登記所ニ囑託スヘシ其ノ合併又ハ變更ノ登記ニ付テモ亦同シ

第二十三條ノ四 差押ノ解除ニ關シテハ登錄稅ヲ納ムルコトヲ要セス

第二十四條ニ左ノ一項ヲ加フ

債權及所有權以外ノ財產權ニ付テハ前二項ノ規定ヲ準用ス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君)此改正ハ現行法ノ不備ノ所ヲ補ヒマスノデゴザイマシテ、其重モナルモノハ現行法デハ債權ト動產、不動產ノミニ滯納處分ノ場合ニ於テ強制執行ヲスルコトガ出來ルヤウニナッテ居リマスモノチバ、其以外ノ權利ニマデ及ボサウト云フコトガ重モナル改正デゴザイマス、先日當院ヲ通過イタシマシタ地租條例ノ改正法律ナドヲ行ヒマスト云フト、追く地上權ナド差押ヘテ公賣スルナドト云フ場合ガ生ジヤウト思ヒマスノデ、サウ云フ場合ニハ丁度此改正ナ致シテ置キマセヌト云フト出來マセヌト云フヤウナ次第デゴザイマスカラ、ソレノミデハゴザイマセヌケレドモ、大體サウ云フヤウナ改正ナシテ現行法ノ不備ヲ補フノデゴザイマス、ドウゾ御審議ノ上ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君)御發言ガ別ニゴザイマセヌケレバ次ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第五、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉

○子爵平松時厚君 是モ議長ニ御任セナ致シマス

〔賛成ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 平松子爵ノ委員ノ選定ヲ議長ニ任セルト云フ御説ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君)然ラバ議長が選定ナ致シマス

右貴院ノ送付ニ係ル政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十

五條ニ依リ及回付候也

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ノ第六ニ移リマス、擔保附社債信託法案、

政府提出、衆議院回付、會議

○議長(公爵德川家達君) 擔保附社債信託法案

明治三十八年二月二十三日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵德川家達殿

(修正アル條項ノミヲ載錄ス)

○議長(公爵德川家達君) 第五十二條 社債權者集會ノ決議ハ信託契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外行使セラレタル議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ第六十四條、第六

十七條第一項、第七十五條、第八十五條、第八十六條及第九十七條第一項ニ記載シタル事項ノ決議ハ記名債券ヲ有スル者及第二項ノ規定ニ依リ

債券ヲ供託シタル者ノ半數以上ニシテ社債總額ノ半數以上ニ當ル社債權者カ議決權ヲ行使シタル場合ニ非セラハ之ヲ爲スコトヲ得ス

○議長(公爵德川家達君) 商法第百六十一条第二項乃至第四項ノ規定ハ社債權者集會ノ決議ニ之ヲ準用ス

○議長(公爵德川家達君) 集會ニ出席セサル社債權者ハ信託契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外書面ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得

○議長(公爵德川家達君) 各社債權者ハ社債ノ最低金額毎ニ一箇ノ議決權ヲ有ス但シ社債ノ最低金額ノ十一倍以上ヲ有スル社債權者ノ議決權ハ信託契約ヲ以テ之ヲ制限スルコトヲ得

○議長(公爵德川家達君) 〔政府委員平沼駿一郎君演壇ニ登ル〕

○議長(公爵德川家達君) 唯今問題トナッテ居リマスル法案中、衆議院ノ修正ニ關シマシテ一應政府ノ意向ヲ申上げテ置キマス、衆議院ニ於テ修正ニ

相成リマシタノハ第五十二條デゴザイマス、第五十二條ハ貴族院ニ於キマシテモ修正ニ相成リマシタ箇條デゴザイマスが、結局當院ニ於キマシテ修正ニ

相成リマシタ點モ衆議院ニ於テ修正イタシマシタル點モ、其主意ニ於キマシテハ一點ノ差異モ無イコト信ジテ居リマス、即チ當院ニ於キマシテ「總社債權者」トアリマシタノナ「記名債券ヲ有スル者及第二項ノ規定ニ依リ債券ヲ供

託シタル者ノ「ト直ツテ居リマスルノデアリマスガ、詰リ「總社債權者」ト書イテアリマスルノハ結局此意味ニ相成リマスルト云フコトハ、商法等ノ規定ト

比照イタシマシテ、推知シ得ラル、當院ノ決議ニ對シマシテハ主意ニ於キ

マシテハ少シモ異議ハ無カッタノデゴザイマス、唯衆議院ニ於キマシテモ

ナ致シマスル點ハ、ドウモ此解釋ト云フモノハ兎角文字ニ拘泥シ易イモノデ

アルカラシテ、或ハ後ニ萬一解釋ニ付キマシテ疑義デモ生ジテハ相成ラヌ、

ソレデアリマスカラ大事ナ條文デモアルコトデアルカラ、先ヅ念ナ入レテ成

ルベク此意義ヲ明確ニ致シテ置キタ伊、斯ウ云フ考カラ致シマシテ衆議院ニ

於キマシテハ之ヲ修正スルコトニナリマシタノデゴザイマス、政府ニ於キマ

シテモ此主意ニ於キマシテハ兩院ノ決議ニ付キマシテ少シモ差異モ無イコト

デゴザイマスガ、サリナガラ衆議院ニ於キマシテ懸念ナ致シマシタ點ニ付キ

マシテモ尤ト考ヘルノデゴザイマス、即チ解釋ニ疑義ノ起ルト云フコトハ成

ルベク杜絶シテ置キタイト云フ考デゴザイマスカラ、結局衆議院ノ修正ニ同

意ヲ表スルコトニ致シマシタノデゴザイマス
○富井政章君 此衆議院ノ修正ハ至極穩當ナルモノト認メマス、曩ニ本院ノ

委員會ニ於テ本條ヲ修正セラレタノモ畢竟同一ノ主意ニ出タノデアリマス、

ソレ故ニ當院ニ於テ本條ヲ修正セラレタル主意ハ全ク貫徹イタシテ居リマ

スガ故ニ、此修正ニハ直ニ同意セラレムコトナ希望イタシマス

○子爵岡部長職君 贊成

〔其他贊成〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 衆議院ノ回付案通り御異存ナイモノト認メテ宜シ
○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ左様決シマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第七ニ移リマス、貴族院令中改正案、政
府提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長菊亭侯爵
貴族院令中改正案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十三日

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長

侯爵菊亭修季

貴族院令中改正案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見
右貴族院規則第五十條及第四十二條ニ依リ提出候也

明治三十八年二月二十三日

右特別委員

伯爵徳川達孝 伯爵松平直亮 男爵千家尊福

男爵伊達宗敦 男爵川口武定 小幡篤次郎

貴族院議長公爵徳川家達殿

貴族院令中改正案特別委員會ノ報告ニ對スル少數者意見

原案ハ公平ヲ失スルヲ以テ第四條第二項ハ左ノ如ク修正スヘキモノナリト
信ス

前項議員ノ數ハ通シテ百四十三人以内トシ伯子男爵各其ノ總數ニ比例シ
テ之ヲ定ム但シ伯子男爵各其ノ總數ノ五分ノ一ヲ超過スヘカラズ

〔侯爵菊亭修季君演壇ニ登ル〕

○侯爵菊亭修季君 委員會ノ經過ヲ御報道イタシマス、本案ハ去二十三日散
會後ニ委員會ヲ開キマシテ、正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシタ、終ツテ後直ニ
會議ヲ開キマシタ、總理大臣ノ出席ヲ請ヒタ伊、總理大臣ノ出席ヲ請ヒマシテ、總
理大臣ノ出席ヲ請ヒマシテ、諸君ノ間ニ於キマシテモ種々ノ御質問ガ數十回
モゴザイマシテ、又千家男爵ヨリ修正案ノ提出モゴザイマシタ、而シテ其採
決ノ結果ハ出席委員十四名ノ中、原案ヲ可トスル諸君ガ七名、修正案ヲ可ト
スル諸君ガ六名デ、即チ委員會ニ於キマシテハ原案ヲ可決イタシマシタ、此
段御報道イタシマス

○男爵千家尊福君 此場合ニ少數意見ヲ報告イタシタイト思ヒマス
○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス、御登壇ナ願ヒマス

〔男爵千家尊福君演壇ニ登ル〕

○男爵千家尊福君 少數意見ヲ報告ナ致シマス、此特別委員會ノ經過ノ模様
ハ唯今委員長ヨリ報告ガアリマシタデ、御了承ニナツテ居ル次第アリマス
ガ、私ヨリ特別委員會ニ於キマシテノ修正案ヲ提出イタシマシタ所、不幸

ニシテ一名ノ少數ヲ以て否決セラレマシタ様ナ次第アリマス、ソレニ就キマシテ茲ニ少數意見ヲ提出イタシマシテ、諸君ニ御判断ヲ願ヒマスル次第ニアリマシタ様ナコトデ、私ノ提出イタシマシタ修正意見ハ第四條ノ第二項ヲ修正イタシタイト云フ意見デアリマシテ、其修正ハ「前項議員ノ數ハ通シテ百四十三人以内トシ伯子男爵各其ノ總數ニ比例シテ之ヲ定ム但シ伯子男爵各其ノ總數ノ五分ノ一ヲ超過スヘカラズ」斯ウ云フ意見デアリマシテ、御承知ノ通り今回ノ貴族院令中ノ改正ハ從來總選舉ノ場合ニ於キマシテ伯子男爵議員ノ定數ヲ定メラレマシタルニ付テハ、隨分政府三於テモ煩ハシイコトモアツタデアラウト推察イタシマス、一ツニハ有爵者ノ增加ト共ニ議員ノ益々増加致シテ來ルト云フコトハ際限モ無イコトデアリマスルニ付テハ、政府ガ茲ニ將來ニ向ツテ三爵ノ議員ノ定數ノ制限ヲ立テルト云フ案ヲ提出セラレマシタ次第アリマシテ、之ニ對シマシテハ私ドモニ於キマシテモ最モ適當ナルコトデアラウト信ジテ贊同致シテ居ル譯デアリマスケレドモ、唯三爵ノ議員選出ノ方法ニ至リマシテハ遺憾ナガラ政府ト意見ヲ異ニ致シマスニ付テ、同志ノ者此修正案ヲ提出スルニ至リマシタ次第アリマス、デ御承知ノ通り從來伯子男爵ナ第一期第二期第三期共ニ議員ノ定數ニ於キマシテハ均一チ保ツテ參ツテ居リマシテ、現在ノ所ニ於キマシテモ三爵共ニ五分ノ一弱ニ當ル議員ノ選出ニナツテ居ルヤウナ次第アリマス、之ニ付キマシテハ將來ニ向ヒマシテモ此三爵議員ノ定數ハ成ルベク均一ヲ失ハシメナイヤウニアリタイモノト深ク希望致シテ居ル次第アリマス、然ラバ如何ニ選出ノ方法ヲ定メマシタラバ從來ノ如ク三爵議員ノ定數ヲ均一ナラシムルコトヲ得マスカト申シマスレバ、修正案ノ如ク致シマスレバ或ハ將來ニ向ツテ甚シキ差異ヲ生ズル憂ハアルマイカト考ヘマシタ故ニ、茲ニ此修正案ヲ提出イタシマシタ次第アリマスガ、此修正案ト雖モ諸君ノ御覽ニナル所デハ或ハ完全デハアルマイカト私モ存ジテ居ル次第アリマスケレドモ、政府原案ニ比較イタシマスレバ比較的、公平ナル選出ノ方法デアラウト思ヒマス次第アリマス、ソレ故ニ特別委員會ニ於キマシテモ政府委員ニ向ヒマシテ質疑致シマシタ所、政府ニ於キマシテモ此原案ノ提出以前ニ於キマシテハ篤ト審議ヲ遂ゲラタ次第アリマスガ、私思ヒマスルニ其種々ノ案ヲ立テラレタル中ニハ或ハ

私が茲ニ提出イタシタルノ殆ド同ジ案モアツタデアラウカト存ジマスヤウナ次第アリマスガ、私ハ成ルベク將來ニ向ヒマシテ從來ノ如ク三爵議員ノ選出ハ均一ヲ保タシメタイト考ヘマス故ニ、此選出方法ヲ茲ニ提出イタシマシタヤウナ次第アリマス、若シ此原案ノ儘ニ通過致シマシタナラバ、將來ニ向ヒマシテ多少ノ紛議ヲ遺スト云フヤウナ憂ハアルマイカト深クソレヲ憂慮イタシテ居ル次第アリマス、併ナガラ先キニ申述ベマシタ通り、此修正案ハ完全トハ申難イデアリマセウケレドモ、政府原案ニ比較イタシマスレバ比較的、公平ナル選出ノ方法デアラウト存ジマス、故ニ此以上ハ諸君ノ御判断ヲ以テ然ルベクドウゾ御決定アラムコトヲ切ニ希望イタシマス、此事ニ付キマシテハ尙申上ダタイコトモアリマスケレドモ、餘リ諄々シク申述マシテハ宜シカラヌコトト考ヘマス故ニ、却ツテ餘地ヲ殘シテ置キマシタ方ガ興味アル次第アラウト考ヘマスカラ、茲ニ私ノ修正意見ノ報告ヲ止メマスガ、併シ私ノ申誤ツタ所、或ハ申漏シタ所ニ付キマシテハ他ノ提出者諸君カラ又御陳述モアラウト考ヘマスカラ、私ハ是デ申止メテ置キマス○三浦安君 私ハ少數意見ニ賛成ノ意見ヲ述ベタウゴザイマスガ、二讀會ニ移リマシタ時ノ方が宜シウゴザイマスガ

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵大原重朝君 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲニゴザイマセネバ二讀會ニ移ルベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス、二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○伯爵萬里小路通房君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 「贊成」ト呼ブ者多シ

○伯爵正親町實正君 賛成

○伯爵萬里小路通房君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 直チニ二讀會ヲ開カレムコトヲニゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ直チニ第二讀會ヲ開キマス、直チニ問題ニ供シマスノハ先づ「第四條第二項ヲ左ノ如ク改ム」之ヲ問題ニ供ジマス

○男爵千家尊福君 此場合ニ、先刻少數意見ノ報告ヲ致シテ置キマシタケレ

ドモ、此場合ニ於テ修正ノ意見ヲ提出イタシタイト考ヘマスガ、最早少數意見ノ報告ノ際ニ其提出ノ理由ハ申述ベマシタコトデアリマスカラ之ヲ略シマシテ、少數意見ヲ述べタ節ニ諸君ノ清聽ヲ煩ハシマシタ通りノ修正文ヲ茲ニ修正トシテ提出イタシタウゴザイマス……ソレデ宜シウゴザイマスカ

○議長（公爵徳川家達君） 宜シウゴザイマス、千家男爵ニ御注意申シマスガ、是ニハ定規ノ賛成者ガ要リマスカラ、此議場デドウゾ定規ノ賛成者ヲ、賛成ガゴザイマスナラ御述ベニナリマス方ガ宜カラウト思ヒマス

○三浦安君 賛成

○男爵金子有卿君 賛成

○男爵前島密君 賛成

○男爵本多副元君 賛成

○松本鼎君 賛成

○渡邊福三郎君 賛成

○千坂高雅君 賛成

○男爵川口武定君 賛成

○男爵高崎安彦君 賛成

○伊澤修二君 賛成

○磯邊包義君 賛成

○男爵新田忠純君 賛成

○藤田四郎君 賛成

〔此他「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 唯今ノ千家男爵ノ修正説ハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタカラ問題ニナリマシタ、三浦安君

〔三浦安君演壇ニ登ル〕

○三浦安君 此修正説ニ付キマシテハ提出者ノ千家男爵ヨリ先刻其趣旨ノ説明ガアリマシテゴザイマスカラ、最早諸君ハ十分ニ御承知デ、此上ニ私ノ贊辯ヲ添ヘルニハ及バムトモ存ジマスケレドセ、併ナガラ委員會ニ於キマシテモ僅ノ數ヲ以テ原案ノ方ガ成立ツタヤウナ次第モゴザイマスカラ、此席ニ於キマシテモ賛成者タル者ハ一應其説ヲ述べマスモ亦已ムヲ得メコトト存ジマスル、是ハ政府ニ於テ此案ヲ提出イタシマシタ理由ハ同ジコトデゴザイマス、修正案ト雖モ少シモ違ヒハナリ、大數ノ上ニ於テハ同ジコトデゴザイマス、

是ハマア尤ナ次第ゴザイマシテ、二十三年ノ初期ノ議會ニ比シテ見マスルト隨分澤山増シテ居リマスル、其増シテ居リマスルノハ、即チ華族ノ爵ヲ受ケマスル者ガ多クナツタカラデゴザイマス、是ハ國家ニ功勞アル者ガ多クシテ華族ノ爵ヲ受ケル者ノ多イノハ國家ノ爲ニ賀スペキコトデゴザイマス、誠ニ結構ナコトデゴザイマスルガ、併シ追く際限ナウ増シテ行キマシテ、其數ニ應ジテ議員ガ増スト云フコトニナリマスルト、衆議院トノ釣合ガ惡クナリマスルシ、又多數ノ議員デハ煩雜ニ過グルヤウニモナリマスルカラ、茲ニ於テ之ヲ制限スルト云フコトハ誠ニ已ムヲ得ヌ至當ナ理由ト存ジマス、大體ノ數デ言ヒマスルト、初期ノ時ニハ二百三十二三人デゴザイマシタ、今日デハ三百六十餘人カラニナツテ居リマス、マア百三十……二三十人増シテ居リマス、此上ニ國家ニ事アル時ニ功勞アル者ガ追々授爵ニナツテ、ドノグラヰ増スカ知レマセヌガ、ソレヲ今茲ニ制限スルト云フ政府ノ趣意ニ於テハ尤モ至極ナコトデゴザイマス、併ナガラ其立案ノ趣意ニ於テハ同ジデゴザイマスガ、方法ニ至ツテハ爵ノ違ヒマスルニ依ツテ、數ノ多少ト云フモノガアリマスシ、今日マデノ所ハ五分ノ一ノ平均デ成來ツタノデゴザイマス、茲ニ於テ爵每ニ數ヲ極メマスルト他日、爵ノ數ニ異動ノ出來マシタ時ニハ不平均ヲ免レヌヤウニナリマス、其不平均ヲ免レシメルニハ即チ爵每ニ數ヲ極メズシテ一般ノ伯子男ノ爵總體ニ於テ數ヲ極メマシテ、ソレデ之ヲ現在ノ數ニ應ジテ比例平均スルト云フコトニナリマスレバ、今日マデノ通リニ平均ヲ保ツコトガ出來マスレノデゴザイマス、今日現在ノ數ニ應ジテ極メルコトニナリマスルト、爵每ニ極メテ置ケバ何レ此次ニ、又七年後ノ選舉ノ時ナドニハ何爵ハ數ニ合セテ少ク、何爵ハ數ニ合セテ多イト云フ不平均ヲ生ジマス、其不平均ヲ生ジマスルト、又改正ヲセネバナラヌト云フコトガ起ツテ來ウト思ヒマスカラ、寧ロ初メニ當ツテ平均ヲ保テルヤウニ總體ノ數ヲ極メマシテ、其數ニ違ヒハ無イノデゴザイマスルカラ、其總體ノ數ニ依ツテ比例平均シテ行クト云フコトヲ極メテ置キマシタナラバ後來ニ於テ弊ノ生ズルコトガ少イト存ジマス、既ニ發議者自ラモ此修正案ガ十分トハ言ヒ難イト云フコトデゴザイマシタガ、私モ之ヲ賛成スルニ付テ、ソレハ考ヘテ見マシタガ、先づ此修正案ノ通リヨリ他ニ別ニ意見モ生ジマセヌデ、是ナリニシテモ平均公平ヲ保ツコトハ政府ノ原案ニ優ツテ而シテ其趣意ハ政府ノ原案ト同ジコトデゴザイマス、サスレバ趣意ヲ政府案ニ賛成シテ、政府案ノ趣意ハ平均シテ届クヤウニ修正

案ニ御賛成下サルノガ適當デアラウト存ジマスルカラ、誠ニイヤ念ノヤウデ

ゴザイマスルガ、是ダケノコトナ申述ベテ置キマス

○穂積八束君 簡單ニ意見ナ述ベヤウト思ヒマスガ、コ、カラ述ベテ宜シウ
ゴザイマスカ……

○議長(公爵徳川家達君) 願ハクハ演壇ニ於テ御述ベニナルコトナ望ミマス

〔穂積八束君演壇ニ登ル〕

○穂積八束君 私ハ此議案ノ委員ノ一人デゴザイマシテ、原案賛成ノ方ニ起立イタシタモノデゴザイマスル、唯今委員長ヨリ明瞭ナル御報告ガアリマシタガ、併シ此議案が多數ヲ以テ可決ニ至リマシタ所以ニ付テハ固ヨリ委員長デナクテハ御報告ナサルコトハ出來ナイ、デ私ハ一人一個ガ之ヲ贊成シタ趣意ダケナ簡單ニ述べテ見マス、必シモ委員會ノ多數ガ之ヲ可トシタ理由ヲ申ス譯デハゴザイマセヌカラ、ソレハ念ノ爲ニ御斷リ申シテ置キマス、此案ト千家男爵ノ御提出ニナリマシタ所ノ案ト較ベテ見マスルト云フト、大體ニ於テ同ジデゴザイマスル、議員ノ數ヲ百四十二人ニ限ルト云フコト、及各爵各五分ノ一ヲ超過スペカラズト云フコトハ同ジコトデゴザイマスル、唯兩案ノ異ナル所ハ各爵ヨリ出スベキ所ノ議員ノ數ヲ原案ニ於テハ人數デ定メテアリマスル、十七人、七十人、五十六人ト云フガ如ク數字ヲ以テ定メテゴザイマスル、千家男爵ノ御修正案ニ於キマシテハ比例ヲ以テスルト云フコトニナツテ居リマス、數字ヲ示サズシテ選舉人ノ數ニ按分比例シテ定ムルト云フ案ニナッガ宜シイカ、コニ其最高限タルベキ所ノ人員ナ明瞭ニ數字デ現ハシテ置クガ宜シイカト云フコトデゴザイマス、依ツテ問題ヲ決スルニハ此各爵ヨリ選出スベキ議員ノ數ヲ選舉人ノ割合デ按分シテ極メルト云フコトニシテ置ク固ヨリ一利一害ガアツテ必シモ絶對ニ何レガ優レルトハ申兼不マスル、併ナガラ少數意見者ノ御議論、即チ按分割合ヲ以テ定ムルト云フコトニ致シマス、其一爵ヨリ選出セラルベキ議員ノ數が甚ダ多クナリマス、從ツテ其一爵ノ議員ガ多クナルダケレダケヘノ爵ノ議員ガ減ツテ來ナケレバナラヌノデゴザイマス、是ハ案分スル結果デゴザイマス、サウ致シマスルト百四十三人

中ノ百二十人トカ百十人トカソソナコトモアリマスマイケレドモ想像シテ申スノデアリマスガ、百四十三人中ノ大多數ノ議員ガ或ル一爵ノ御方デアル、他ノ二爵ノ御方ハ誠ニ少數ナ議員シカ議場ニ出テ居ラヌト云フコトニ

ナリ得ル結果モアリ得ルノデアリマス、現今ノ所デハ此憂ハアリマセヌ、唯

理論ヲ以テ種々ナル場合ヲ想像シテ見ルト、斯ウ云フコトモアリマスルガ、ソレガ望マシキ狀態デアラウヤ否ヤト云フコトヲ疑ツタノデアリマス、原案ニ於キマシテモ極端ニ或ル爵ノ人が少クナツタ場合ニハ矢張リ比例ガ惡クナリマスケレドモ、爵ノ減ルト云フ方ノコトハ事實上餘リ少イノデアリマス、

御承知ノ通り我國ニ於キマスル貴族ノ制度ハ歐羅巴諸國トモ違ツテ居リマシテ、實子ガ無クテモ養子ヲ以テ爵ヲ相續スルコトモ出來マス、嫡出子ガ無ク

テモ庶子ガ相續スルコトガ出來マス、種々ナルコトガアリマスカラ、爵ハサウ減ルコトハ先ツ少イノデアリマスカラ、原案ニ於キマシテノ不權衡ガアル

爵、伯子男各々各爵共ニ或ル程度ニ於テ適當ニ此所ニ議席ナ占メラレルト云

フコトガ必要デアルト見テ定メタモノト思ヒマスカラシテ、或ハ多數選舉人アル爵ニ付テハ一方ヨリ見マスレバ不公平デアルカモ知レマセヌケレドモ、何モ國家ガ貴族院ヲ組織スルニ就テ選舉人ガ多イカラ少イカラト云フコトハ、第二ニ見ル必要ガアルカ知レマセヌガ、直接ニ見ル必要ハ無イト思ヒマス、唯原案ニ於テ伯爵ガ十七人、子爵ガ七十人、男爵ガ五十六人トアリマスガ、此數ニ於テ私ハ深キ意見ハ無イノデアリマス、或ハ子爵ガ七十人デ多過ギレバ六十五人トナスツテ男爵ガ少ケレバ四人増シテ六十人トスルトカ、ソレハ細カイ問題デアツテ私ドモ其所マデ見通シガ付イテ居ル譯デアリマセヌカラ、適當ナル修正ガアレバソレハ能ク承ツテ賛成モ致シマスガ、唯選舉人ノ數ニ按分スルト云フコトナ主義トスルハ必シモ必要デナイ、ト云フコトノミナ申上ダテ置キタイト思ヒマス、是ハ先刻ヨリ申ス通り私一個ノ考デアル、又修正案ノ御説明ナ聽キマシタラ自分ノ説モ亦省ミテ變更スルコトハ一向躊躇セヌノデアリマスカラ、ドウゾ公平ニ御審議ナ願ヒタイト思ヒマス。

○男爵尾崎三良君 私モ意見ガゴザイマスガ、此所デ述べテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ナ願ヒマス

○男爵尾崎三良君 極簡單デゴザイマスカラ……

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ナ願ヒマスト議長ハ申シマシタ

〔男爵尾崎三良君演壇ニ登ル〕

○男爵尾崎三良君 私ハ一體少々不加減デゴザイマシテ、今日ハモウ何モ申上ゲヌ積リデゴザイマシタガ、唯今穂積博士ヨリノ御演説ニ付テ聊カ述ベタイヤウナ心持ガ致シマシタカラ暫ク諸君ノ御邪魔ナ致シマス、一體今度ノ貴族院令ノ改正ト云フコトハ私一個ノ考デハ必要デナイト云フ考ナ持ツテ居ルノデアリマス、ト申スモノハ此改正ノ出タ趣意ハ先刻カラモ段々述べラレタ通り、段々有爵者ガ殖エルニ付テ際限モ無ク議員ガ殖エテハ困ル、ト云フ所カラ制限ヲ附ケヤウト云フ御考ヘニナツタノデアラウト思フ、所ガ貴族院令ニハ必シモ五分ノ一ト極メテナイノデス、五分ノ一以内トシテアル、其以内デアリマスカラ若シ有爵者ガ非常ニ殖エタトキニハ是ハ當局者ニ於テ適當ノ所ニ極メラレテ差支ナイコトト考ヘル、ガ全體ナラバ是レハ否決シタイ、私ノ精神ハ……、サリナガラ否決論者ハ一向無イヤウデアリマスカラ、ソレヲ申シタ所ガ駄目デアリマスカラ、ソレハ一步讓リマシテ、若シ改正スルナラ

バ私ノ本心ハ、極公平ニスルナラバ、伯子男爵ナ通ジテ何十人トカ、何百人トカシテ、必シモ何ノ爵カラ何人、此爵カラ何人ト云フコトナ極メナイガ宜イト思フ、サスレバ成ルベク此議員タル資格ナ得ラレタ人が出ルコトニナラウト思フ、時トシテハ伯爵ノ人ガ多ク出ルコトモアリ、又時トシテハ男爵ノ人ガ多ク出ルコトガアリ、又子爵ノ人ガ多ク出ルコトモアリマセウ、ソレハ細カイ問題デアツテ私ドモ其所マデ見通シガ付イテ居ル譯デアリマセヌカラ、又ソレニ反對ノ色くナ牽強ナ説ガアリマスカラ、已ムナ得ズ一言茲ニ申述べバナラヌコトニナツテ參リマシタ、ソレハ成ルホド博士ノ申サレル如ク何ゾ必シモドノ爵カラ何人出ナケレバナラヌ、此爵カラ何人出ナケレバナラヌト云フ主意デハナイ、貴族院ノ議員トシテ適當ノ人ナ出シタイト云フノナラズ、公侯爵モ五爵通ジテ何人ト云フコトガ一番公平デアラウト思フガ、ソレハモウ唯今申シタ所ガ駄目デアリマスカラ、唯今此所ニ出テ居ル案ニ付テ利害ナ申シマスレバ一體、元ノ貴族院令ノ精神ト云フモノガ矢張リ各爵カラソレニ其員數ニ相當シタ人ナ出サウト云フコトニナツテ居ル、依ツテ五分ノ一チ超過スベカラズト云フコトニナツテ居ル、此精神ナマルデ引繩返シテ仕舞フト云フ論ナラバ格別デアリマスガ、元くサウ云フ精神デハナニニ違ヒナイ、唯有爵者ガ殖エテ議員ガ制限ナク殖エルト云フコトハ將來ノタメ大ニ考慮スベキコトデアルカラ此邊デ制限ヲ附ケヤウデハナイカト云フコトニ違ヒナイ、ソレデ此貴族院ニ於テモ其精神ニハ皆サン御同意ノコトデ、唯其制限ヲ附ケル上ニ於テノ方法手段デアル、其方法手段ヲドウ考ヘタラ宜イカト云フナラバ、ドウモ原案ノ通リデアルト云フト、今日ノ各爵ノ數ガ此比例デ以テ殖エテ行ケバ何モ言フコトハ無イ、サリナガラ中くサウハイカナイ、デ實際ヲ申シテ見マスルト、ドウシテモ私ハ男爵ガ一番餘計殖エル、此前ノ實例ガサウデアリマス、最初ノ議院ノトキニハ男爵ハ僅カ百人足ラズデアツタカト思ヒマスガ、チヨツト亩ニ覺エマセヌガソレガ、ソレガ今日デハ二百何十人、殆ド三百人近クナツテ居ル、所ガ此數デ以テ今極メテ仕舞フコトニナルト、他日又男爵ガ大變殖エタトキニハ極小部分ヨリ出ナイト云フコトニナツテ必

ズサウナルト先刻三浦君ノ御説ノアツタ通り非常ニ不權衡ノコトが出來ルト
云フト、又修正セニヤナラヌト云フコトガアリマスカラ、寧ロ今日ニ於テ稍
比較的公平ナ此修正案ニシテ置イタ方ガ他日又之ナイラハニヤナラヌト云フ
コトガ無クテ宜カラウト思ヒマスカラ、願ハケバ此修正案ノ通リニ可決セラ
レムコトナ希望イタシマスルノデス、先づ長クナリマスカラ是デ終リマスコ
トニ致シマス

〔伯爵廣澤金次郎君「採決ヲ願ヒマス」ト呼ブ〕

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ御發言ガゴザイマセネバ採決ヲ致シマス、此
採決ニ就キマシテ無記名投票ヲ以テ採決ニ相成リタイト云フ希望、又記名投
票ヲ用ヰタイト云フ希望、兩様議長ノ手許マデ出テ居リマス、故ニ記名投票
ヲ用ウベキヤ、無記名投票ヲ用ウベキヤノ採決ノコトハ本院規則第百九條ニ
據リマシテ、議長ハ必要ト認メマスカラ無名投票ヲ以テ採決イタシマス、ソ
レデ諸君ニ申上ダマスガ、本院規則ノ第百九條ニ據リマシテ、記名ヲ可トス
ル諸君ハ白球、無記名ヲ可トスル諸君ハ黒球……黒イ球……サウ御心得
ナ願ヒタイノデス、ソレカラ御名刺ヲ御忘レニナラヌヤウニ希望イタシマ
ス

〔男爵伊達宗敦君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 伊達男爵ハ……

○男爵伊達宗敦君 私ハ耳ガ惡クテ聽取レマセヌデアリマシタカラ、念ノ爲
ニ伺ッテ置キマスガ、唯今執行サレムトスル所ノ無記名投票ハ此問題ノ表決
ヲ記名投票ヲ以テ極ムルヤ、又無記名投票ヲ以テ極ムルヤト云フコトヲ決ス
ル爲ノ無記名投票ヲ致スコト思ヒマス、ソレニ付キマシテ記名投票ヲ可ト
スル者ハ此際白球、無記名投票ヲ可トスル者ハ黒球……黒イ球ヲ入レル、斯
ウ云フコトニ心得テ宜シウゴザイマスカ、甚ダ御煩ハシウゴザイマスガ、モ
ウ一應伺ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 伊達男爵ノ御述ベニナリマシタ通リデアリマス、
是ヨリ氏名點呼ヲ始マス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

〔議員中私語スル者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御靜肅ニ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 投票ガ終リマシタニ付キマシテ開函ヲ致シマス

〔投票ヲ計算ス〕
○議長(公爵徳川家達君) 無記名投票ノ結果ヲ申上ダマス、投票總數二百五
十五、記名投票ヲ可トスル者、即チ白球ヲ投ジタル者百十一、無記名投票ヲ可
トスル者、即チ黒球ヲ投ジタル者百四十四、故ニ修正案ノ採決ハ無記名投票ヲ
用ヰルコトニ致シマス、……是ヨリ議長ガ宣告ヲ致シマスカラ、ドウカ御靜

肅ニ願ヒタウ存ジマス、千家男爵ノ修正説ヲ可トセラル、諸君ハ白球……白
イ球ヲ、否トセラル、諸君ハ黒球……黒イ球ヲ御投入ニ相成ルコトニ希望イ
タシマス、此度モ御名刺ヲ御忘レノ無イヤウニ致シタウ存ジマス……是ヨリ
氏名點呼ヲ行ヒマス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長(公爵徳川家達君) 投票ガ終リマシタカラ是ヨリ開函イタシマス

〔投票ヲ計算ス〕

○議長(公爵徳川家達君) 投票ノ結果ヲ御報道ニ及ビマス、投票總數二百五
十七、千家男爵ノ修正案ヲ可トスル者、即チ白球ヲ投ジタル者百二十九、否
トスル者、即チ黒球ヲ投ジタル者百二十八、故ニ……

〔議員中私語スル者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御靜肅ニ願ヒマス、故ニ一票ヲ以テ修正案ハ可決
セラレマシタ、……御靜肅ニ願ヒマス、次ニ採決ヲ致シマスノハ「第五條ニ
左ノ一項ヲ加フ」是ハ委員會報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 是ニ於テ第二讀會ハ終リマシタ

○男爵中川興長君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトナ希望イタシマス

○男爵金子有卿君 贊成

〔其他賛成ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ直ニ第三讀會ヲ開キマス、二讀會決議ノ通

リ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 是ニ於テ全部議了イタシマシタ、休憩ヲ致シマス

午後零時二分休憩

卷之三

○男爵川口武定君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス

○議長（公爵徳川家達君）直チニ二讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

ザイマスカラ申述べテ置キタイ
○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○子爵高野宗順君 市町村立小學校教育費國庫補助法及教育基金令ニ依ル沖

総額ノ酬賄金及酬當金ノ仕拂残額ナ翌年度ニ繰越使用ニ關スル法律案此委員會ノ經過並結果ヲ過日私が演壇デ報告イタシマシタ中ニ、委員長、副委員長モ居ラレマセヌ爲ニ私ナ假ノ委員長トシテ其委員會ニ於テ決議ナ致シテ、サウシテ議場ニ報告シテ吳レト云フコトデ、私が報告ナ致シタノデアリマス、過日申シマシタ中ニ漏レテ居リマシタ、即チ私ナ假ノ委員長トシテ委員會ニ於テ決議ナ致シマシタ、サウシテ委員長ノ代理トシテ此所デ報告ナ致シタノデアリマスカラ、此段一言申添ヘテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程ノ第八ヨリ第十七マデハ皆承諾ヲ求ムルノ件デアツテ同一委員ニ付託セラレマシタカラ委員會ノ報告ハ束ネテ委員長チ煩ハシマス、特別委員長菊亭侯爵

○議長(公爵徳川家達君) 高野子爵ニ確メテ置キマスガ、サウ致シマスト議場ヘノ報告ノ時ニ高野子爵ガ委員長代理ヲセラル、ト云フコトヲ委員會ニ於テ決議ニナツタト議長ハ認メテ宜ウゴザイマスカ

○子爵高野宗順君 ハイ

○議長(公爵徳川家達君) 唯今高野子爵ノ述ベラレマシタ趣デゴザイマセバ、本日ノ議事日程ニ此法案ノ議事ヲ開ク爲ニ議事日程ノ追加ヲ致シテハ如何デゴザイマセウカ

「異議ナシ」ト呼ブ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議が無ケレバ 議事日程ニ追加ナ致シマス、本案ヲ二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス、此ニ於テ一讀會ハ終リマシタ

○男爵西五辻文仲君直ニ二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○男爵紀俊秀君 贊成

右特別委員副委員長

男爵船 越 衛

貴族院議長公爵德川家達殿

○侯爵菊亭修季君 本案ハ私が委員長デゴザイマシタガ、貴族院令ノ改正案

ノ方ニ參ッテ居リマシタノデ船越副委員長ニ依頼シテ置キマシタ、船越副委

員長カラ報告ガアリマセウト思ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 副委員長船越男爵ノ登壇ヲ促シマス

〔男爵船越衛君演壇ニ登ル〕

○男爵船越衛君 明治三十五年度豫備金ノ支出外九件、此承諾ヲ求ムルノ件

ニ付キマシテ委員會ノ報告ヲ致シマス、即チ唯今菊亭侯爵ヨリ述ベラレマシ

タヤウニ菊亭侯爵が委員長デゴザイマシタガ、貴族院令ノ方ニ行カレマシタ

カラ私ガ副委員長ナ以テ報告イタシマス、即チ今日ノ議事日程ニゴザイマス

ル第八カラ第十七マデナ順ナ逐ウテ報告イタシマス、左様御承知下サイ、第

八、三十五年度ノ豫備金支出ノ件デゴザイマス、是ハ第一豫備金ハ御案内ノ通

リ百萬圓コザイマス、此中カラ支出イタシマシタモノガ外務省デ五萬四千五

百圓足ラズ、内務省デ十三萬圓餘、大藏省デ三十五萬三千圓餘、陸軍省デ三

六萬七千圓餘、海軍省デ一萬七百圓餘、司法省デ四萬七千七百圓餘、文部省

デ七千圓餘、農商務省デ一萬八千圓餘、遞信省デ八千二百圓餘、是ホド三十

五年ノ豫備金デ支出イタシマシタガ、其中大藏省ノ三十五萬圓餘及陸軍省ノ

三十六萬圓ガ一番數多ウゴザイマス、之ニ付テモ段々委員會デ質問モゴザ

イマスシ、調査モ遂グマシタガ、誠ニ是ハ必要已ムナ得メ費用デゴザイマシ

テ、即チ陸軍省ノ三十六萬圓餘ハ米代等ガ餘ホド多クゴザイマシテ、ソレユ

エ豫備金ノ支出ヲ要シタ……

〔「聽エマセヌ、高聲ニ願ヒマス」ト呼フ者多シ〕

……又第二豫備金モ各省トモ多少ゴザイマス、是ハ簡単ノ御請求モゴザイマスカラ、委シクハ申上ダマセヌ……

〔「今少シ高聲ニ願ヒマス」ト呼フ者多シ〕

……段々調査モ遂グマシテ、質問モ致シマシテゴザイマスガ、皆必要已ムナ得マセヌ……

○議長(公爵德川家達君) 船越委員長ニ申上ダマスガ、諸君ノ御希望モゴザイマスカラ、モウ少シ御大聲デ御報告ナス、タラ宜カラウト思ヒマス

○男爵船越衛君 更ニ申上ダマス、第二豫備金デ三十五年ニ支出イタシマシタノガ外務省デ三萬三千圓餘、内務省デ二十六萬四千圓餘、大藏省デ三萬六千圓餘……

〔「大聲ニ願ヒマス」ト呼ブ者アリ、咳嗽スル者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 静肅ニ願ヒマス

○男爵船越衛君 陸軍省デ十八萬圓餘、海軍省デ七十四萬圓餘、司法省デ六萬圓、農商務省デ五十四萬圓……マア大體ノ支出ノ大要ヲ述ベマス、遞信省デ十二萬圓餘、此中最モ海軍省ノ七十萬圓ガ高デゴザイマス、多イ員數デゴ

ザイマス、是ハ英國ノ皇帝ノ戴冠式等ニ軍艦ヲ派遣イタシマシタリ、或ハ又海軍省ニ於キマシテ武藏艦其他ニ艦ノ座礁イタシタ費用等ガゴザイマス、ソ

レユエスノ如ク多額ヲ要シタノデ、其外皆唯今各省ノ支出ヲ陳述イタシマシタノハ皆必要已ムナ得メト委員會ハ認定イタシマシタ、是デ日程第八ハ報告

ガ濟ミマシタ、第九ノ報告ヲ致シマス、是ハ三十五年度剩餘金ノ支出、剩餘金ノ支出ハ三百四十六萬五千九百圓餘デゴザイマス、此中重モナルモノハ内

務省ノ十萬三千圓餘、又陸軍省ノ六十二萬圓餘、是等ハ、内務省ハ即チ埼玉縣

柄木縣等ニ水害ガゴザイマシタ其復舊工事ニ用キタ、陸軍省ノ六十二萬圓餘

ハ米價騰貴ニ付キマシテ糧米等ニ頗ル費用ヲ要シマシタ、又馬糧ノ騰貴デ支

出イタシマシタ、皆是ハ已ムナ得マセヌデ、海軍省ノ十三萬圓モ即チ糧食等

ノ費用ガ最モ多キニ居ルノデ、是モ已ムナ得マセヌ支出ト云フコトデ委員會

ハ承諾ヲ與ヘルコトニ一致イタシマシタ、ソレカラ今度ハ日程第十、是ハ特

別會計豫備金支出ノ件デゴザイマス、此總額ハ三十六萬圓少シ足ラヌ支出デ

ゴザイマス、是ハ臺灣總督府ノ第一豫備金ヲ支出イタシマシテ又官設鐵道ノ

豫備金ヲ悉皆支出イタシマシテ此不足ヲ補ヒマス、其外臺灣ニ於キマシテ三

十五年度七八月ノ暴風雨ノ被害復舊工事ノ費用デ皆必要已ムナ得マセヌト委

員會ハ認定イタシマシタ、日程ノ第十一ニ移リマス、日程ノ第十一ハ三十五

年度特別會計剩餘金ノ支出デゴザイマス、是ハ私設鐵道會社ト官設鐵道トノ

連帶收入ニ對シテ拂金ノ戻入等モゴザイマシテ、ソレユエ剩餘金デ支出ヲ致

シタノガ重モナルモノデゴザイマス、第十二、是ハ三十五年度清國事件第二

豫備金支出ノ件ガ最モ多ウゴザイマス、豫算額ハ二百五十萬圓デアルノデゴ

ザイマス、其仕拂ハ支出イタシマシタノガ、二百十七萬圓餘支出イタシマシ

タ、其大部分ハ清國駐在ノ軍人或ハ機密ニ瓦ル經費、又將校ノ宿舎費等ガゴザイマスカラ、モウ少シ御大聲デ御報告ナス、タラ宜カラウト思ヒマス

ザイマシテ是ガ火災ニ罹ツタ方が最費用ヲ多ク費シタノデゴザイマス、是モ已ムヲ得マセヌ、承諾ヲ與ヘルコトニ致シマシタ、日程ノ是カラ十三、即チ三十六年度ニ移リマス、三十六年度ノ豫備金支出ハ第一豫備金、是モ百萬圓、第二豫備金二百萬圓、悉皆是ハ消費イタシマシタノデゴザイマスガ、是モ卽チ前ト大概同様デ、外務省十八萬圓餘、大藏省ガ三十五萬圓、陸軍省ガ六萬圓、司法省農商務省ト多少皆豫備金ヲ費シマシテゴザイマシタ、其最モ多キハ大藏省ノ費用デゴザイマス、是ハ四十萬圓足ラズデ、是ハ製造煙草ノ輸出等ガ多キガ爲ニ三十三萬圓餘リ交付金ニ不足ガゴザイマス、之ニ卽チ豫備金ヲ用キマシタ其外ゴザイマスガ

〔少シ高聲ニ願ヒマス」ト呼ブ者アリ〕

餘リ細カニ理由ヲ申サナクトモ大概議案モ御閱覽ニナツテ居リマセウカラ敢テ細カニハ述べマセヌ、ソレデ其外尙三十五年同様ノ剩餘金ノ支出、特別會計ノ支出、皆ソレノ調査ヲ致シマシテゴザイマス、何レモ實地已ムヲ得マセヌ支出ト云フコトニ委員會ハ決議イタシマシタ、此段御報告イタシマス

〔伯爵柳澤保惠君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵德川家達君) 柳澤伯ハ何デスカ

○伯爵柳澤保惠君 唯今ノ副委員長ノ報告ハ私ハ耳ハ遠クハ無イノデゴザイマスガ、如何ニモ側デモ聽エマセヌ、承諾ヲ與ヘルトモ與ヘナイトモ申シ兼ネマス、ドウカモウ少シハツキリ御高聲ニ願ヒマス、滿場ノ諸君モ御同感ト思ヒマス

〔伯爵柳原義光君「私モ御同感デゴザイマス」ト述ブ〕

○男爵船越衛君 御質問遣ハサルレバ宜シウゴザイマスガ、柳澤伯爵ハ大聲デト云フ御發言デゴザイマシタガ、御分リニナラヌ所ハ御質問遣ハサレルトソレニ依ツテ御答ヲ致シマス、私ハ是ヨリ大キナ聲ハ出マセヌ

〔男爵伊達宗敦君「全部分ラナイ」ト述ブ〕

〔述ブ〕

十三、十四、十五、十六、十七、東不テ三十五年度ト大差ノ無イト云フコトナ申上ゲタンデゴザイマス……一々何シマセウカ、大略更ニ申上ゲマセウカ

〔モウ分リマシタ」ト呼ブ者アリ〕

〔願ヒマス」ト呼ブ者アリ〕

御發言ガゴザイマセネバ降壇ナ致シマスガ、宜シウゴザイマスカ、第八カラ第十七マデ報告ハ是デ濟ンダト私ハ心得マス

〔男爵伊達宗敦君「ソレデハモウ能ク分リマシタ」ト述ブ〕

○議長(公爵德川家達君) 高崎男爵ハ何デスカ

○男爵高崎安彦君 賛否ハ一向聽エマセヌカラ決シヤウガゴザイマセヌ、如何イタシタモノデゴザイマセウカ

○議長(公爵德川家達君) 唯今ノハ議長ニ御尋デゴザイマスカ

○男爵高崎安彦君 左様デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 賛否ハ何レニ御決シニナリマセウトモ議長が御差圖スル限リデナイト存シマス、採決ヲ致シマス、御異議ガ無ケレバ第八ヨリ第十七マデ、東ネテ問題ニ致シマス、委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) ソレデハ承諾ヲ與ヘルコトニ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程ノ第十八ニ移リマス、明治二十九年法律第六十三號ノ有效期間ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長黒田侯爵

明治二十九年法律第六十三號ノ有效期間ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十四日

右特別委員長

侯爵黑田 長成

〔侯爵黑田長成君演壇ニ登ル〕

貴族院議長公爵德川家達殿

○侯爵黒田長成君 此法律案ハ臺灣ニ對シテ行ハレル所ノモノデアリマシテ、二十九年ノ六十三號ハ其有效期限ハ三箇年間トシテアリマス、ソレヲ臺灣ノ統治上ノ都合ニ依テ三十二年ト三十五年ト兩度ニ又三箇年ツ、延期ニナツタノデゴザイマス、斯ノ如ク屢々延期ニナリマスコトハ立法上甚ダ好マンシクナイコトデハアリマスケレドモ、臺灣ノ事情が段々明ニナルニ連レテ一方ニ於

テハ臺灣ノ情況ノ大ニ發達シタ點モアリマセウガ、又一方ニハ内地トハ特殊ノ規定ヲ設クル必要ガアルト云フコトハ益々明ニナルニ連レテ、斯ノ如キ特別ノ規定ハ容易ニ廢スルコトが出來ナイヤウニナツテ參ッタノデアラウト思ヒマス、ソレデ前回ニ政府ニ於テ追テハ臺灣ニ對シテ特別ノ制度ヲ設クト思云フコトガ明言ニナツテ居リマス、所ガ今日ノ時局ニ際シマシテ早急ニソレヲ制定スルコトノ出來ナイ已ムナ得サル事情モアルノデ、詰リ平和克復ノ翌年ノ未マデニ此制度ヲ設ケテ議會ノ協賛ヲ經ル運ニシャウト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、其事ハ委員會ニ於テ委員ノ中ヨリ政府ヘ確メマシタ所ガ、無論其準備ハ出來ル積リデアルト云フ明答ナ得タノデアリマス、デ目下日露戰爭ノ際デアリマスカラ、此度ハ此法律ハ是認シテ、政府ノ明言シタ點モアリマスカラ、其時機ヲ待ツコトガ宜シカラウト云フ、委員一同皆考デゴザイマス、委員會ハ一度開キマシテ殘ラズ委員が出席シテ全會一致ヲ以テ可決スベキモノト決シマシタ、此段御報告イタシマス

○男爵西五辻文仲君　讀會省略ノ動議ヲ提出イタシマス

〔「賛成」ト呼ブ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君）　西五辻男爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアッタト認メマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長（公爵徳川家達君）　三分ノ二以上ト認メマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長（公爵徳川家達君）　過半數ト認メマス
アッタト認メマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

多數

○議長（公爵徳川家達君）　三分ノ二以上ト認メマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長（公爵徳川家達君）　議事日程第十九ニ移リマス、居留民團法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長柳澤伯爵、居留民團法案

右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十四日

右特別委員長

伯爵柳澤保惠

○議長（公爵徳川家達君）　三分ノ二以上ト認メマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長（公爵徳川家達君）　過半數ト認メマス、是ニテ可決

〔伯爵柳澤保惠君演壇ニ登ル〕

貴族院議長公爵徳川家達殿

○伯爵柳澤保惠君　諸君、私ハ居留民團法案ノ特別委員會ノ經過並結果ヲ例ニ依テ御報告イタシマス、此案ハ御承知ノ通リニ第一條カラ第六條ニマデ瓦リマシタル極ク極メテ簡單明瞭ナ法文デゴザイマシテ、委員會ニ於テモ餘ド委シイ質問モゴザイマシタ、殊ニ此理由ニ書イテゴザイマスル「在外帝國居留民ノ數比年增加スルヲ以テ云々トゴザイマスニ就テ、居留民ノ數ノ增加ニ付テモ政府委員ニ質問イタシマシテ、茲ニ委シイ所ノ人口增加ノ表モ得タ譯デアリマス、先づ是ガ此法案ノ提出ノ理由トナリマスルコトデ此他ニハ現在殊ニ韓國ニ於キマスル所ノ居留地ノ狀態が追々發達イタシマシテ又凡テ居留民增加ニ就キマシテモ茲ニ法人ノ資格ヲ與ヘルコトガ必要デアルト申シマスルノデ、此法人ノ資格ヲ與ヘマスルコトハ最モ時機ニ適シタコトト思ヒマスガ、委員會ニ於テハ質問モゴザイマシタガ、反對ノ意見モ無ク容易ニ通過シマシタノデアリマス、此人口數ノコトニ就テ御質問ガゴザイマスレバ詳細ニ申上ゲマス、是ハ極十分信ヲ置ケヌ數トハ存ジマスガ、全ク根據ノ無イ數トモ存ゼラレマセヌノデ、諸君ニ於テモ何卒御賛成ナ願ヒマス、尙極簡單ナ案デゴザイマスカラ、讀會省略ヲ以テ御可決アラムコトナ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十三移リマス、所得稅免除ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

所得稅免除ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十八年二月二十三日

衆議院議長松田正久

貴族院議長公爵徳川家達殿

在外出征ノ陸海軍隊ニ屬シ戰役ニ關スル事務ヲ執ル者ニハ明治三十八年分

ヨリ平和克復ノ年マテ其ノ俸給給料手當ニ付所得稅ヲ免除ス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言ガゴザイマセネバ次ノ議事日程ニ移リ

マス、議事日程第二十一、特別委員ノ選定ハ議長ニ御任セイタシマス

○子爵堤功長君此特別委員ノ選定ハ議長ニ御任セイタシマス

○男爵西五辻文仲君 贊成

〔其他賛成ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 此特別委員ノ選舉ハ議長ニ御任セニナリマスカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ唯今ノ堤子爵ノ動議ノ通リニ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十二ニ移リマス、刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ヲ開キマス

刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案
右本院提出案及送付候也

明治三十八年二月二十三日

貴族院議長公爵徳川家達殿

第一條 左三記載シタル者一年以下ノ禁錮ニ處セラレタルトキハ情狀ニ因

リ裁判確定ノ日ヨリ二年以上五年以内其ノ執行ヲ猶豫スルコトナ
得但シ監視ニ付セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

一 前ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトナキ者

二 前ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコトアルモ其ノ執行ヲ終リ又ハ其

ノ執行ヲ免除ナ得タル日ヨリ十年以内ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタ
ルコトナキ者

第二條 刑ノ執行ヲ猶豫シタル場合ニ於テハ附加刑亦其ノ執行ヲ猶豫ス但

シ沒收ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 刑ノ執行猶豫ハ裁判所ニ於テ檢事ノ請求ニ因リ又ハ職權ヲ以テ刑
ノ言渡ト同時ニ判決ヲ以テ之ヲ言渡スヘシ

刑ノ言渡アリタル後ニ於テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所檢事ノ請求ニ因
リ又ハ職權ヲ以テ執行猶豫ノ決定ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ決定

確定ニ至ル迄刑ノ執行ヲ停止ス

刑ノ執行ニ著手シタル者ニ付テハ其ノ執行ヲ猶豫セス

第四條 檢事ハ刑ノ執行猶豫ノ裁判ニ對シテハ刑事訴訟法ノ規定ニ從ヒ上
訴ヲ爲スコトナ得

第五條 刑ノ言渡ニ對シ上訴アリタル場合ニ於テハ刑ノ執行猶豫ノ裁判ハ
當然其ノ效力ヲ失フ但シ上訴裁判所ニ於テ更ニ執行ヲ猶豫スルコトナ得
キ

第六條 刑ノ執行猶豫ノ期間内左ニ記載シタル事由アルトキハ執行猶豫ノ
裁判ヲ取消スヘシ

一 猶豫期間内ニ犯シタル罪ニ付禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

二 猶豫ノ裁判前ニ犯シタル他ノ罪ニ付禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルト
キ

三 猶豫ノ裁判前十年以内ニ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルコト發覺シタ
ルトキ

第七條 刑ノ執行猶豫ノ取消ハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ所在地ヲ管轄スル
地方裁判所ニ於テ檢事ノ請求ニ因リ之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ニ對シテハ刑事訴訟法ノ規定ニ從ヒ抗告ヲ爲スコトナ得
第八條 刑ノ執行猶豫ノ裁判取消サレタルトキハ刑期ハ其ノ決定確定ノ日
ヨリ之ヲ起算ス

第九條 刑ノ執行猶豫ノ裁判取消サルルコトナクシテ其ノ猶豫期間ヲ經過
シタルトキハ猶豫セラレタル刑ノ執行ヲ免除ス

附 則

本法ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發議ガゴザイマセバ委員ノ選舉ニ移リマ

○富井政章君 チヨット政府委員ニ質問シタイノデアリマスガ、政府ハ此法

律案ニ同意セラレテ居ルノデアリマスカ、若シサウデアレバ近キ將來ニ於テ
刑法改正案ヲ提出スル意思ハ御持チニナツテ居ラヌノデアリマスカ

〔政府委員石渡敏一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石渡敏一君) 衆議院提出ノ刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案ニハ同意ナ致シタノデアリマス、又政府モ次ノ議會ニハ刑法草案ヲ提出スル積居ルノデアリマス、次ノ議會ニ刑法草案ヲ提出スルノニ今日、刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案ニ賛成ナスルト云フノハナカシイヤウデモアリマスガ、實ハ法案ノ内容ハ最モ適切ナ改正案ト存ジマスルノデ、一日モ早ク實行ヲ希望スル所カラシテ此法案ニモ賛成スル次第デアリマス

○富井政章君 私ハ此立法事業ガ斯ノ如クバラヽヽ行ハレルト云フコトハ甚ダ宜シクナイト考ヘマス、僅カ一年クラキノ違ヒデアレバ次ノ議會ニ提出スルト言ハレル刑法改正案ノトキニ於テ此事ヲ規定セラレルガ至當デアルト思ヒマス、政府ハ僅カ一年モ待テナイト云フホドニ此法律ヲ執行スルコトノ急務ヲ認メテ居ラル、ノデアルカ、今一應伺ヒマス

〔政府委員石渡敏一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(石渡敏一君) 先ホドモ申上ゲル如クニ刑ノ執行猶豫ニ關スル法案ノ内容ハ極メテ良イコトト存ジマス、且一タビ貴族院ヲ通過シマシタ刑法草案ト同一デゴザイマス、唯刑ノ執行猶豫ヲ實行スルニ就テ必要ナル點カラ……必要ナルヨリ刑事訴訟法ニ少シク加ハッタダケノコトデ、刑ノ執行猶豫ノ實際必要デアツテ、成ルベク早ク行ッテ見タイト云フ考カラシテ此法案ニ同意イタシタ次第デアリマス、ドウカ賛成アラムコトナ希望イタシマス○富井政章君 今一應伺ヒタイノハ是ハ此次ノ議會ニ提出セラル、刑法改正案中ニ此事ヲ規定シテ、刑法施行法ニデモ更ニ此法律ヲ廢スルト云フコトニナサル御考デアリマセウカ

○政府委員(石渡敏一君) 唯今ノ所デハ今御尋ノ如キ考ナ持ッテ居リマス、刑法草案ノ中ニ矢張リ同一ナル規定ヲ設ケマシテ、サウシテ今日行ヒマス所ノ……今日通過ノ後、實行セラル、所ノ刑ノ執行猶豫ニ關スル法案ヲ廢スト、スウシタイト云フ考ナ持ッテ居リマス

○議長(公爵德川家達君) 次ノ議事日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉、此委員ノ選定モ議長ニ御任セニナリマスカ

〔異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十四ニ移リマス、傳染病豫防法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長佐竹侯爵

傳染病豫防法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十四日

右特別委員長 侯爵佐竹義生

貴族院議長公爵德川家達殿
〔侯爵佐竹義生君演壇ニ登ル〕

○侯爵佐竹義生君 是ヨリ傳染病豫防法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、委員會ハ昨日開キマシテ正副委員長ノ選舉ヲ致シマシテ、引續キ開會ヲ致シマシタ、先づ政府委員ノ説明ガゴザイマシテ、説明ノ次第ヲ段々承リマスト、政府ニ於キマシテモ大キニ同意デアルト云フコトデゴザイマス、併シ尙各條ニ就キマシテ審議ヲ盡シマシタ所ガ、種々質問モ出マシテ、其質問ノ箇條モ澤山ゴザイマスガ、此所デクダヽシイコトナ申上ゲテモ煩ハシクナリマスカラ省キマシテ……、尙審議ノ末、別段ニ一字一句ノ修正削除等モ無ク原案通リニ可決イタシマシタ次第デゴザイマス、尙満場ノ諸君ニ於カレマシテモ既ニ能ク御承知ノコトト存ジマスカラ、讀會ノ順序ヲ省略セラレマシテ直チニ御確定ナラムコトナ希望イタシマス、此段御報告イタシマス

○男爵西五辻文伸君 讀會省略ニ賛成

○伯爵柳澤保惠君 賛成

○男爵川口武定君 賛成

○男爵本多副元君 賛成

〔其他賛成ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 佐竹侯爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ賛成者ガアツタト認メマス、讀會省略ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノニ以上ト認メマス、原案御異議無イト見テ
宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ原案全部可決

トヲ望ムト云フノデ左ホド激シイ議論モ無ク、二名ニ對スル五名ト云フ多數
ヲ以テ通過イタシタノデゴザイマス、此段御報告トタシマス、ドウカ何卒委
細ノコトハ政府委員ニ御尋ナ願ヒマス

○男爵金子有卿君 本案ハ簡單ナ案デゴザイマスカラ讀會省略ナ願ヒマス

○男爵本多副元君 贊成

○男爵高崎安彦君 贊成

○男爵平野長祥君 贊成

○男爵堀田正養君 本員ハ讀會省略ニハ不同意デゴザイマス、矢張リ一讀會、
二讀會ノ決議ナ御採リニナツタ後ニ、即チ一讀會ナリ二讀會ナリ順序ニ決チ
採ラレムコトナ希望イタシマス

○子爵高野宗順君 堀田君ノ說ニ贊成イタシマス

○子爵板倉勝達君 堀田子爵ニ贊成

○子爵大田原一清君 贊成

○貴族院議長公爵徳川家達殿
右特別委員長
子爵稻垣太祥
貴族院議長公爵徳川家達君演壇ニ登ル

○子爵稻垣太祥君 本案ハ昨日正副委員長ヲ選舉イタシマシテ、即日ニ審議
ヲ開キマシテゴザイマス、政府委員ニハ水町君が出ラレマシテ、色く質問ナ致
シマシテゴザイマスルガ、政府委員ハ此案ハ誠ニ結構ナ案デハアルケレドモ
是ガ成立シタ以上ハ隨分弊害ヲ生ズルシ、又行政裁判ノ事務モ大ニ殖エルコ
トデアルカラ、成立シナイコトナ希望スルト云フコトデゴザイマス、本案ニ反
對ノ委員モ矢張リ大同小異ノ議論デゴザイマシタ、贊成者ハ國有土地森林原
野下戻法ト性質ガ同ジモノデアルノニ、一方ニハ行政訴訟ノ途ガ明ケテアル
ノニ是ニハ行政訴訟ノ途ナムイノハ即チ法文ノ不備デアル、ソレ故ニ
此度ノ衆議院ノ提出案ハ誠ニ結構ナコトデアルカラ、速ニ可決アラムコトナ
望ム、政府委員ハ行政裁判所ノ事務ガ殖エルト云フコトナ言フケレドモ行政
裁判所ハ森林原野下戻法ニ就テ先頃來隨分錯雜シタコトモアルケレドモ、ソ
レモ追々片ノ付クコトデアルカラ、最早闇散ニ苦シムコトニ却ッテナルカモ
知レナシ、故ニ此問題ニ就テ如何ホド訴訟ガ起ルトモ決シテ錯雜ニ苦シムト
云フコトハ無イ、斯ウ云フ論旨デゴザイマシタ、又一人ハ政府委員ハ此問題ガ
通過シタ曉ニハ種々ナ弊害ガ起ルト云フコトナ言ハレタガ、併シ此弊害ハ又
更ニ別ニ之ニ處スルノ途ガアルデアラウ、故ニ此問題ハ速ニ通過セラル、コ

〔其他「贊成」ト呼ブ者アリ〕

〔國務大臣男爵曾禰荒助君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵曾禰荒助君) 皆様カラ讀會省略ト云フ御言葉ノ出マシタノ
ガ私ノ耳ニ初メニ這入リマセザツテ立後レナシタヤウナ氣味デゴザイマスガ
今議長カラ許サレマシタカラ暫ク御清聽ナ讀シマス、此案ハ表面ハ誠ニ綺麗
ナヤウニ見エマス案デゴザイマスカラ、兎角綺麗ナ方ノ好キナ人ニハ氣ニ入
ルカモ知レマセヌ、實ハ此案が通リマシタ時分ニハ今日マデモ十分ノ調査ナ
シ十分ノ手數ヲ掛ケ置イテ、尙今日マデモ結局スルコトガ出來ヌ位ニ複雜シ
タ代口物デゴザイマス、此複雜シタモノナ十分ノ取調ナシマシテ、結局セウト
シテ大藏省ハ非常ニ骨ナ折ツテ居リマスガ、何分トモ多クノ年數ガ掛ッタモノ
デアリ、其取調モ思フヤウニ早ク運ンデ參リマセヌ、之ヲ尙ホ行政裁判所ノ
方ヘ回シマシタ時分ニハ此先キ何年間デ凡ソ結了シマスコトカ殆ド見留メガ
付カズ、又假令行政裁判所ノ方ニ用ガ無クテ御因リナサツテモ逆モサウ云フ
コトニハ參リハセメト確信イタシマス、却ッテソレガ爲ニ地方地方ニ用モナ
サヌ得モナサヌ時間潰シニナリマシテ、到底本當ノコトハ運ンデ參リハシマ
スマイト考ヘマス位デゴザイマス、決シテ此事ハ山林ノヤウニ目ノ前ヘ持ツ
テ行ツテ當ツテ來ルモノトハ違ヒマス、詰リ制度ノ方ノ取調カラ見ルモノデ

局スルコトハ強ク申シマシタラ數十年掛ルカモ知レマセヌ、ソレニハ非常ナ費用ナ掛ケマシテ行政裁判所ノ方ニハ用ハ出來マスカ知レマセヌガ、實際ハ用ナ爲サスト云フ結果ニナルト思ヒマス、ドウゾ諸君、コレハ否決アラムコトナ偏ニ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 金子男爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ贊成ガ無イト認メテ居リマス、採決ナ致シマス、本案ヲ二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ナ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス、故ニ此案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ日程第二十六ニ移リマス、會計法中改正法律案衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長柳原伯爵

會計法中改正法律案

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十四日

右特別委員長
伯爵柳原義光

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵柳原義光君演壇ニ登ル〕

○伯爵柳原義光君 會計法中改正法律案ノ委員會ノ經過及結果ヲ簡單ニ御報道申上マダス、委員會ハ二十三日ニ開キマシテ其時正副委員長ノ選舉ヲ行ヒ、ソレカラ昨日即チ二十四日ニ會議ナ開キマシテ、一回ノ會議ヲ以テ決了ナ告

ゲタノデゴザイマス、是ハ御存ジノ如ク衆議院カラ提出ノ上、本院へ送付ニナッタ議案デゴザイマシテ、衆議院ニ於キマシテハ委員會モ三回マデ開カレタ様子デゴザイマシテ、審議ノ上ニモ審議ナ盡シタ上、本院へ送付ニ相成ッタ案デゴザイマスカラシテ、委員會ニ於キマシテモ十分政府委員ニ向テ質問ナ致シマシタシ、審議モ盡シマシタ末、全會一致ナ以テ可決スベキ……デハナイ

即チ否決スベキモノナデアルト云フコトナ以テ、全會一致ナ否決イタシマシタ、其要領ナ簡單ニ申上ゲマスガ、詰リ現行會計法ノ第八條ニ「豫備金ナ以テ支辨シタルモノハ年度經過後帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルナ要ス」斯ウ

災害地地租免除ニ關スル法律案

右否決スヘキモノナリト議決ス依テ及報告候也

明治三十八年二月二十四日

云フ規定ガゴザイマスルノチ之ヲ「豫備金ノ支出アルトキハ次ノ帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルナ要ス」、斯ウ改正ナシタイト云フノガ此案ヲ提出ニナリマシタ趣意デアルト思ヒマス、ソレハ詰リ提出者ノ精神カラ言ヘバ當局者ノ責任ナ一層明ニシ、豫備金ノ支出ノ疎漫ニ流レルコトナ防ギ、會計監督ナラメント云フコトニナルノデゴザイマス、詰リ御存ジノ如ク會計法ハ御承知ノ通り一年度一纏メニシテ居ルノデゴザイマス、然ルニ此案ハ年度ニ拘ラズ支出アレバ直チニ其次ノ議會ニ提出シテ承諾ヲ求メルト云フノデゴザイマスカラ、豫備金ヲ支出シテ、サウシテ其仕事が完了ナ告ゲメ以前ニ議會ニ提出シテ承諾ヲ求メルト云フ結果ニナル、仕事ニ著手ナシテ其仕事がマダ完了セヌケレバ計算書が出來ナイ譯デ、短期ノ間ニ開ケル議會デハ到底出來ナイコトデアリマスカラシテ、詰リ是ハ嚴正ニ云フト會計法ノ精神ニ違反スルヤウナ傾キガアルヤウニ思ヒマスルカラシテ、詰リ委員會デハ前申シマシタ如ク全會一致ナ以テ否決ナ致シタヤウナ次第デゴザイマス、ドウゾ諸君ニ於カレマシテモ十分ニ御審議ノ上、否決アラムコトナ切望イタス次第デアリマス、尙委細ノコトハ私ニ御尋ニナルヨリハ政府委員ノ方ヘ御尋ニナル方が能ク御分リニナルト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 別ニ御發言ガ無ケレバ採決ナ致シマス、本案ヲ第二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ナ請ヒマス

起立者 無シ

○議長(公爵徳川家達君) 起立者ハゴザイマセヌ、故ニ此法案ハ否決セラレマシタ

○議長(公爵徳川家達君) 次ハ日程ノ第二十七ニ移リマス、災害地地租免除ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、特別委員長報告、特別委員長

大原伯爵

右特別委員長
伯爵大原重朝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵大原重朝君演壇ニ登ル〕

○伯爵大原重朝君 災害地地租免除ニ關スル法律案ハ委員會ヲ昨日午前三開キマシタ、委員諸君ハ九人ノ中三人マテ御缺席デアリマシテ、併ナガラ過半數デゴザイマスカラ、會議ヲ開キマシテゴザイマス、大藏省ノ政府委員モ出テ参リマシテ、段々質問モ多々ゴザイマシタヤウナ次第、併シ此問題ハ三十一年度カレ出タ問題デゴザイマシテ、其時ニ地租ハ延納ト云フコトニ貴族院ニ於テ修正ナシテ成立ヅタノデゴザイマス、其以來地租ハ延納ト云フコトニナリマシタノデゴザイマスカラ、災害ガアルニ從ツテ水害、風害、旱害、蟲害等ノモノニ對シテ地租ヲ免除スルニハ及バスト云フ政府委員ノ説明デゴザイマス、ソレデ延引シマシタ、延納シマシタノハ三十一年度ニハ二十萬ホドゴザイマシタ、又三十六年度ニハ六千圓、三十七年度ニハ三千圓ト云フヤウナ延納デアルサウデゴザイマス、デ或ル一人ノ委員カラハ隨分困難ナル事件ガアルノデアルカラ、金ノ數ニ依ツテハ極少數デアルカラ免除サレテモ差支ヘナイト云フヤウナコトモ出マシタ、ソレニ對シテ政府委員ハ全然此問題ニ付テハ歴史モアルコトデ大ニ此成行キナ陳述サレマシタヤウナコトデ、其未採決イタシマシタ所ガ、五名ノ中兩名が賛成デ三人が否決ト云フコトデゴザイマステ、一人ノ多數ヲ以テ此案ハ否決イタシマシタヤウナコトデ、滿場諸君例ニ依ツテ否決アラムコトナ望ミマス、又此歴史ニ付キマシテハ政府委員ニ御尋ネ下サイマスレバ明瞭イタサウト思ヒマス、此段御報告ヲ……

○西村亮吉君 唯今ノ委員長ノ報告ニ反対ナ致ス說ナ申述べタウゴザイマス
○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

〔西村亮吉君演壇ニ登ル〕

○西村亮吉君 諸君、私ハ唯今特別委員長ノ報告ニナリマシタ委員會ノ否決ニ反対ナ致シマスル、此災害地地租免除ニ關スル法律案ハ此前回ニモ提出ニナリマシテ、衆議院ヨリ提出ニナリマシテ、ソレガ延納法ニ修正ニナリマシタ、此法案ハ何分成立ツテ通過ナ致シマセヌト不都合ナコトデアルト考ヘマスルカラ、一應此理由ナ申述べマシテ諸君ノ御賛成ナ願ヒタウ存ジマス、諸君モ

御承知ノ通り此災害地ノ地租ノ免除ト云フコトハ第十回ノ議會ニ始マリマシテゴザイマス、即チソレハ水害デアリマシタ、其以來、災害地ノ地租免除ト云フコトハ年々ニ案が出マシテ一年限リノ法律ニナツテ總テ免租ニ成リ來ツテ十二年ノ法律第三號、三十三年ノ法律第一號、是ハ水害免租、サウシテ同年ノ法律第二十四號、是ハ蟲害免租ノ法律デアリマシタ、ソコデ斯ノ如ク年々一年限ノ免租案ノ出ル爲ニ第十五議會デ政府ハ此水害ヲ免租スルト云フコトノ法律案ヲ提出ニナリマシテ、水害地地租特別處分法、斯ウ云フ法律案ガ出マシタガ、ソレハ水害ノミ免租スルト云フノデアリマシテ、衆議院デハ前年既ニ蟲害ヲ免租ニモナツテ居リマスコトデアリマスノデ、其水害ノ下ヘ蟲害、風害、旱害ト云フ此三害ヲ以テ差加ヘテ修正ニナツテ水害蟲害風害旱害地方田畠地地租免除ニ關スル法律案ト、斯ウ修正ニナツテ貴族院ヘ回付ニナリマシタ又修正シテ政府案通り修正ニナリマシタ、ソレデ兩院協議ノ末、本案ハ貴族院ノ修正通り又附則ハ衆議院ノ修正通りトナツテソレガ決定ニナリマシタ、即チソレガ、明治三十四年法律第二十七號デアリマスル、是デ本則デ水害ガ免除ニナリ、附則デ蟲害、風害、旱害ガ免除ニナリマシテゴザイマス、是ガ第十五議會デアツタト覺エテ居リマス、ソコデ第十六議會ニナリマシテ、衆議院ハ地租條例ノ改正ヲ提出ニ相成リマシテ、其地租條例ノ改正ハ斯ウ云フ改正デゴザイマス、地租條例ノ第二條ニ二項ヲ加ヘルト云フコトデゴザイマス「一府縣又ハ數府縣ノ全部若クハ一部ニ亘レル天災又ハ地變ニ因リ收獲皆無ニ歸シタル田畠ノ地租ハ其年分ニ限りリ之ヲ免除ス」前項ニ依リ免租ノ處分ヲ受ケムトスル者ハ罹災後三十日以内ニ主務官廳ニ申出ヘシ此法律第二十七號ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス」斯ウ云フ案ナ衆議院ハ提出ニナリマシタ、ソレハ其案ハ既ニ政府モ同意ナセラレテ貴族院ヘ回付ニナリマシタ、ソレデ貴族院ノ委員會デハ政府委員ハ此改正ハ政府ハ衆議院ニ於テ同意ナ致サレタ、又斯クナルガ政府ニ於テモ望ム所デ、就テハ通過スルコトニ希望スルト云ウテ、委員會デ政府委員ハ申述べラレマシタ、所ガ其時ニ委員會ノ多數ハ地租條例ヲ改正スルト云フコトハ面白ウナイ、ドウモ體面ガ宜シウナイ、成ルホド年々災害地ハ免租ニナリヨルカラ既ニ其前年二十七號ノ法律ヲ出サレテ水害ハ免租スルト云フコトニナツテ居ルカラ、其「水害」ヲ「災

害」下變へテ置ケバ皆免租ニナルコトが出來ルカラ、ソレデ宜シイデハナイカ、又其土地ノ蟲害、雹害ニ就テノ調べハ既ニ政府ハ付テ居ル趣デアッテ見レバ、此改正案ハ茲デ否決シテソコデ蟲害ト雹害トヲ通過サヘスレバ宜シイデハナイカ、斯ウ云フ委員會ノ多數ノ御説デアリマシテ、此改正案ハ否決ニナリマシテ、雹害ト蟲害トハ委員會デ可決ニ相成リマシタ、ソコデ本會ニ於テ政府委員ハ斯ウ言ハレマシタ、政府委員ハ若櫻君デアリマシタ

唯今地租條例中改正案ニ付テ委員會ノ結果ノ御報告ガゴザイマシタガ、委員會ニ於テハ衆議院提出ノ案ニハ、案其物ノ内容ニ付テハ左ホド非難スベキ所ハナイ、即チ已ムチ得ナイモノデアラウト云フコトナ御認メニナッテ居リマシタガ、唯其形ガ惡ルイ、地租條例ノ中ニ之ヲ入レルハ惡ルイ、ソレ故ニ明治三十四年ノ法律第二十七號ノ方ナ修正シテ其目的ヲ達スルヤウニスルガ宜イト云フ御論デ否決ニナリマシタノデゴザイマス、左様イタシマスト詰リ此案ノ主意ニハ御不同意ハナイ、唯法律ヲ作ル所ノ形式ガ惡ルイト云フノデ否決ニナッタヤウナ次第デゴザイマス、成ル程形式ハ或ハ地租條例ヲ改正シマセヌデ唯今ノ法律第二十七號ヲ改正シタ方ガ宜イカモ知レマセヌケレドモ、案ノ内容ニ付テ既ニ御不同意ガナイ以上ハ唯形式ダケノコトデゴザイマスレバ成ルベク此衆議院提出ノ案ノ如クニ極リマスレバ政府ノ方デモ調査ガ行屆キマスシ、尙到底斯ウ云フコトハ害ノ起リマシタトキニ免租チシナイト云フコトノ出來又狀態ニ在ルコトハ現ニ雹害地ノ免租ナリ蟲害地ノ免租ナリ委員會ニ於テ可決ニナッタ所ヲ見テモ明デゴザイマスカラ、矢張リ是ハ衆議院提出ノ如ク通過イタシマスヤウニ希望イタシマトスウ云フヤウニ政府委員ハ述ベラレマシテ、此時ハモウ既ニ政府ハ災害地チ免租スルト云フコトハ十分ニ同意セラレテ居リマシタ、即チ其蟲害、雹害ハ明治三十五年法律第二十五號デ蟲害ノ免租、法律第二十六號デ雹害ハ免租ニナリマシタ、諸君モ御承知ナサレマス通り災害地ノ地租免除ノ事ハ第十六議會ニ於テ政府ハ既ニ同意ナセラレマシテ、又貴族院ノ多數モ御異存ハ無カツタヤウニ存ジマスル、所ガ十七議會ハ御承知ノ通リ開カル、ヤ否ヤ解散ニ相成リマシタカラ、即チ其時ノ災害地ノ地租ノ處分ニ差支ヘタカラシテ三十六年ノ二月ニ勅令第八號ヲ以テ延納法ト云フモノヲ發布セラレマシタ、隨分此法ハ酷ナ法デアラウト思ヒマス、皆無地ニ三年内ニ延納ナ許可スルト云フコ

トハ隨分酷ナ法デアリマセウト思ヒマス、全體政府ハ十六議會ニ於テ災害地ヲコトハ如何ニモ不都合デアルト思ヒマスル、ソコデ十八議會ニ出サレタト云衆議院ハ災害地地租免除ニ關スル法律案ヲ提出ニナリマシタ、政府ハ又此三十六年勅令第八號ノ承認ナ求ムルコトナ提出ニナリマシタ、ソレデ衆議院デハ此勅令ノ八號ハ否認シテ置イテ、災害地地租免除ニ關スル法律案ハ可決シテ貴族院ヘ回付ニナリマシタ、是ハ皆様御承知ノ通リデゴザイマス、ソレデソレガ貴族院デ彼是レト修正ニナッテ遂ニ是ガ延納法律ト云フコトニナリマシテ、明治三十七年法律第三號デ發布ニ相成リマシタ、全體政府ハ第十六議會デ免租ニ同意ナセラレテ居リマシテゴザイマス、貴族院モ亦多數ハ免租ニ御異存ハ無カツタヤウニ覺エマスル、其證據ニハ蟲害雹害地ノ免租ハ大多數デ通過ナ致シマシタ、ソコデ此本案ノ貴族院ノ議ニ上ボリマシタハ去ヌル十日デアリマシテ、其時ニ政府委員ハ反對ナセラレテ居リマスル、其反對ハ斯ウ云フコトデアリマス……

〔子爵堀田正養君「ドウカ速記録ノ朗讀ダケハ御見合セナ願ヒタイ」ト述ブ〕

御承知デゴザイマスレバ申上ゲスママイガ、全體政府委員ニアッテハ三十七年ノ法律第三號ノ存在シテ居ル間ハ同意ハシタクトモ同意ナシヤウト云フコトハ言ハレマセヌ、サウ云フ譯デアリマシテ、實際此法律案ガ通過ナ致シマセヌコトデハ事實誠ニ不都合デアリマス、其不都合デアルト申スコトハ三十七年ノ災害地ノ免租ト延納ニナッタ府縣、又其免租ノ延納ニナッタ金額ナ大藏省ニ就テ調べテ見マシタノハ斯ウ云フモノデゴザイマス、多數ノ縣ガアリマスガ、未ダ是ハ大藏省ニ報告ニナッテ居ラヌ所ガ澤山アル様子デゴザイマス、承テ見マスルト……所ガ水害ト云フト神奈川縣ハ四十八圓、靜岡縣ハ九十四圓、其他先ヅ是ガ一番少イ所デアリマス、百五十圓ト云フヤウナ所モアリマス、又千圓ニ及シ居ル所モアリマス、是ハ皆無ノ故ニ免租ニナッタモノト思ヒマス、所ガ風害地、旱害地ノ如キハ三百圓、四百圓、殆ド千圓ノ災害ナ蒙テ、收穫皆無ニナッテ居ツテモ、其方ハ納租ナセヌナラヌ、免租ニハナラヌ、實ニ不公平千萬ナコトデゴザイマス、三十年ノ各地ノ災害ハ唯今申シタヤウナ次第デアリマスル、實ニ一方ハ免租シ一方ハ免租セヌト云フコトハ不公平千萬デ

ゴザイマス、今日ハ上下一致全力ヲ盡シテ報效スルノ時デアリマス、非常特別稅ノ如キハ過分ノ増稅、新稅モ辭セズ、貴衆兩院デ全會一致デ通過スルヤウナ場合デアリマス、壯丁ハ召サレテ出征軍ニ從ヒ、同胞ハ内ニ在ツテ災害ニ罹リ、收穫皆無ニナツテモ免租ニナラヌト云フコトハ如何ニモ憤然ナ次第デゴザイマス、甲ノ地方ハ水害デアッテ免租ニナツテ乙ノ地方ハ旱害デアッテ免租ニナラヌ、斯ウ云フ不公平ナコトハ無イノデアリマス、既ニ十六議會ニ於テ政府モ同意セラレテ居ルコトデゴザイマスルカラ、何分此案ハ諸君ノ御贊成得テ通過スルヤウニ致シタウゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 政府委員

〔加藤正惠君「唯今西村君ノ……」ト述ブ〕

○議長(公爵德川家達君) 政府委員ニ發言ヲ許シマシタ

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 災害地ノ地租ノ處分ノコトデ唯今西村サンカラ御述ベニナリマシタ點ニ就テ、本案ニ不同意ナル理由ナ一通り申上ゲタウゴザイマス、災害地ノ處分ニ就テ立法ノ沿革ヲ唯今西村サンガ御述ベニナリマシタシガ、如何ニモ其通リデアリマスガ、其中十六議會ニ於テ政府ハ免租ニ同意ナシテ居ル、而シテ今日不同意ヲ言フコトハ不都合デアルト云フ御論デアッタヤウデアリマスカラ、其點ヲ少シク辯ジテ置カウト思ヒマス、十六議會ノ時ニ於テハ災害地ノ一般ノ地租ノ處分ト云フ法律ハゴザイマセナカッタ、水害ノモノノミニ就テ免租スルト云フ案ハゴザイマシタガ、其他ノ災害ノモノニハ何等ノ處分ノコトハ規定シテ無カッタノデアリマス、其時ニ衆議院が地租條例ノ第二條ノ改正案トシテ、水害以外ノ災害ニ付テモ免租ヲスルト云フ案ヲ出シマシタ、當時之ヲ容レラレタイト申シマシタノハ、年々サウ云フ特別法ガ出マスルニ就テハ其調査ガ出來惡タッテ、ソレガ爲ニ官民ノ間ニ餘ホドノ爭ガアル、又當初豫算セラレタ免租額カラ見ルト云フト非常ナ多額ノ免租ヲシナケレバナラヌト云フコトデ、歲計ノ維持ト云フ上ニ付テモ大變困ル、ソレデアリマスカラ寧ロドウシテモ斯ウ云フ立派ナモノガアルコトナラバ、之ヲ永久ニセラレタイト云フ、斯ウ云フ希望ヲ述ベタ、然ルニモ拘ラズ本院ニ於テハ是ハ地租條例ノ精神ニ反スルモノデアル、斷ジテ斯ウ云フコトハ容ルベカラザルコトデアル、斯ウ云フコトニナツテ唯今西村サンカラ御述ベニナリマシタヤウニ、地租條例ノ改正案ハ否決ニナツタノデゴザイマス、サ

サウシテ併ナガラ目前ニアル雹害或ハ風害ノ如キモノノ處分ハ、是ハ何トカ作ラナケレバナラヌト云フノデ、唯一年限リノ特別法ガ其時ニ出來マシタ、ソレデ政府ハ段々本院ナドノ御意向ヲ承リマスルト、又實際地租條例ノ精神ニ罹リ、收穫皆無ニナツテモ免租ニナラヌト云フヤウナ結果ヲ生ジテ惡ルニ屢々免租スルト云フコトハ、是ハドウモ宜シクナイ、歲計ノ上ニ於テ之ヲ維持スル上カラ宜シクナイ、又免租ヲスルコトガ時ニハ惰農ノ爲ニハ大變便利デアッテ、勤勉ナル者ノ爲ニハ免租セラレナイト云フヤウナ結果ヲ生ジテ惡ルイト云ア結果ヲ見マシタヤウナ次第デアッテ、ソコデ一昨々年ノ東北ノ凶作ノ場合ニ於ケル處分ヲ考ヘマスル時ニ免租ノ方法デハイカヌ、併ナガラ何等ノ方法モ付ケナイト云フコトハ是ハ又無理デアルト云フノデ、地租ノ延納ト云フコトナ案ジマシテ、緊急勅令デ地租延納ト云フコトニ致シテアリマス、但シ其勅令ハ三年間ノ延納デアッタモノデアリマスカラ、是ニハ衆議院デモ遂ニ事後承諾ヲ得マセヌデ、ソレカラ免租法案ガ衆議院カラ提出ニナツタノト云フコトナ案ジマシテ、茲ニ始メテ災害ノアッタ場合ニ於ケル延納ヲ許スト云フ法律ガ出來マシテ、茲ニ始メテ災害ノアッタ場合ニ於ケルデ、本院ハソレニ對シテ三年ノ延納ハ短キニ失スルガ、併ナガラ免租ト云フ方法ハ宜シキヲ得ナシ、併シ三年ト云フ短イノハイカヌト云フノデ十年間ノマセヌトキニハ或ハ年々特別立法セラル、コトノ不便ヲ訴ヘテ、衆議院ノ提出案ニ御同意ニナリタイト云フコトナ私モ時ノ政府委員トシテ述ベマシタケレドモ、今日ハ既ニ地租延納法ト云フ斯ウ云フ場合ニ處スル立派ナ法律ガ出來テ居リマスルカラ、ソレ故ニ今日ニ於テハ最早地租ノ免租ヲ致シテ、折角出来テ居ル歲計ノ維持ノ妨ゲナスルヤウナコトハスルニ及バヌト云フ、斯ウ云フコトデ衆議院ノ提出案ニハ不同意ヲ唱ヘテアリマス、尙西村サンカラ御述ベニナツタ水害ノモノヲ免租シテ其他ノモノニ付テハ免租ヲシナイト云フノハ權衡ヲ得ナイト云フコトデアリマスガ、是ハ權衡論ヲ吉ヒマスルト其通リデアリマスガ、實ハ水害ノコトニ付テハ其法律ガアリマス、其法律ガ廢セラレマセヌ爲ニ今日免租ニナリマスガ、サツキモ申上ゲマスル如ク、サウ云フ法律ガアルコトガ時ニ惰農ヲ擰ヘルト云フヤウナ虞ガアルヤウニ考ヘマスノデ、政府デハ此法律ノ廢止ニ就テハ目下調査ヲ致シテ居リマスカラ、必要アリト致シマスレバ次ノ議會ニデモ廢止法案ヲ提出スル積リデアリマス、サウシテ雙方ノ權衡ヲ十分ニ取リマスル考デゴザイマス

○加藤正恵君 私ハ政府委員ニ對シテハ大反対黨アリマス、尙又西村君ノ說ハ大賛成ナ致シマス、就キマシテハ唯今政府委員ノ御述ベニナリマシタ所ニ付キマシテ短簡ニ諸君ニ私ハ訴ヘテ以テ相當ノ判断ヲ仰ギタイト思ヒマス……

○議長(公爵徳川家達君) 加藤君ニ申上グマス、御登壇ヲ願ヒマス

〔加藤正恵君演壇ニ登ル〕

○加藤正恵君 諸君、唯今政府委員ヨリ述ベラレマシタ所ノ災害地地租免除ニ關シマシテ、西村君ヨリ業既ニ詳細御述ベニナリマシタ、付キマシテ私ドモ

西村君ノ御説ナ賛成イタシマスニ付テハ、最早述ブルト云フヤウナコトニハ

最早當ラヌ位ニ御述ベニナツテ居リマス位デアリマスガ、私が今日諸君ニ訴ヘル所ハ、簡單ニ以テ御訴ヘチシテ此判斷ヲ願ハウト思ヒマス、ソレハ餘ノコトデアリマセヌ、唯今政府委員ヨリ述ベラレマシタ所ノ地租延納ト云フモノハ即チ五箇年ノモノガ十箇年ニナツタカラシテ、人民ニハ十分恩典ヲ與ヘタルカラ是が十分ノモノデアルト云フヤウニ政府委員ハ餘ホド満足セラレタル御言葉デアル、決シテ左様ナモノデハ決シテナイノデ、何トナレバ諸君モ御承知ノ通り水害免除ト云フコトハ既ニ三十五年ニ置カレテアリマス、シマスレバ水害ナ今日免除セラレル以上ハ、今日他ノ旱害ダラウガ何ノ害ダラウガ彼ノ害ダラウガ皆無ニナル結果ハ同一ノモノデアル、果シテ然ラバ今日ソレダケノ法ニ依ッテ水害ノ如キノ法ニ今日一定シタル所ノ法律ヲ以テ今日ノ人民ニ満足ナ與ヘルト云フノハ、是レ公明正大ナル法律ト言ハナケレバナラヌ、然ルニ政府ハドウモ唯延納延納、唯一筋ニ言ハッシャルト云フヤウナコトデハ、甚ダ以テ此法律ト云フモノハ私ドモノ所デ見マスルト云フト、偏重偏輕ナル今日法律デアル、決シテ公明ナル法律トハ決シテ看做サヌモノデアル、依テ茲ニ簡單ニ申シマスル所ノ地租ニ對シテ水害ニ罹ル、水害ニ罹ッタモノハ政府ハ即チ免除ナシテ遣ハス、然ルニ今日ノ所デハ旱害ニ罹ッテ龜裂ナ爲ス、龜裂ナ爲シタモノハ延納デ納メヨト、ドウモ不公平、諸君極マルヂヤゴザラヌカ、其邊ナ以テドウゾ御判断ヲ仰ギタイト思ヒマス

〔賛成ト呼ブ者アリ〕

○子爵曾我祐準君 政府委員ニ御尋ナ致シタウゴザイマスガ、承ル所ニ依レバ沖繩縣ハ非常ナ旱害ノヤウデアリマスガ、未ダ調査モ十分無イカハ知リマセヌガ、事實、新聞ノ傳フル如キ旱害デアリマシタラ、ソレデモ矢張リ延納

デ果シテ至當ト云フ御信用ガアリマセウカ、殆ド人モ死ヌト云フヤウナ、餓死ガ……餓莖野ニ満ツト云フヤウナ勢ヒデアル、併ナガラ今日ハ運輸ノ便利ナルガ爲ニ即チ船ノ便利ナルガ爲ニ、昔ナラバ餓莖野ニ満ツトモ謂フベキ所ガ、ソレ程ニハ無イト云フコトガ新聞ニモ書イテアリマスガ、皆無ト云フ如意場合ニ當ッテ、サウシテ延納デ矢張リ政府ハ仕遂グラレマスカ、如何デアル、政府ノ信用ハ……其時分ニナツタナラバ矢張リ又何トカ一ツノ方法ヲ設ケテ免租ニナルト云フコトハ、是ハ到底免レヌコトデハゴザイマセヌカ、政府ノ信ゼラレル所ナ承リタウゴザイマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君) 沖繩縣ノ旱害ノヒドイコトハ承知ナ致シテ居リマス、内務省ナドニ於テハ大分調査ニナツタヤウニ伺ッテ居リマス、併シ餓莖塗ニ満ツルト云フヤウナ狀態デハナイヤウニ伺ッテ居リマス、ソレカラ此租稅ノ處分ニ就テハ十年モ延納イタシマスト即チ今年ハ納メヌノデ宜シウゴザイマス、來年カラ十分ノ一ツ、十年間ニ納メルト云フノデゴザイマスカラ、此旱害デ出來ナイ年ニハ租稅ナメヌデ、出來ルヤウニナツタ時ニハ其分ナ十分ノ一ツ、十年間ニ納メルト云フノデゴザイマスカラ、是ハ今年ノヤウナ被害ガゴザイマシタナラバ、延納ナ出願シテ、ソレニ依ッテ延納ノ許可ナ得テシマスレバ、租稅上ノ處分ハ差支ナイト考ヘマス

○子爵曾我祐準君 御議論ハ其通りデアリマスガ、今日ノ百姓ガ斯ノ如ク租稅ガ増シテ居リマスノニ十年ノ間其十分ノ一ツ、納メテモ十年間、其中ニハ又十年ト云フ長キ中ニハ不作モアリマセウ、ソレ等ノコトデ重ナツテ行ッタナラバ、租稅ノ……地租ノ極緩イト云フ時ナラバイザ知ラヌ、百姓ガ……此貧乏ナ百姓ガ、先刻西村君ノ言ハレル通り、壯丁ハ戰場ヘ行ツテ血マブレニナル、依テ茲ニ簡單ニ申シマスル所ノ地租ニ對シテ水害ニ罹ル、水害ニ罹ッタモノハ政府ハ即チ免除ナシテ遣ハス、然ルニ今日ノ所デハ旱害ニ罹ッテ龜裂ナ爲ス、龜裂ナ爲シタモノハ延納デ納メヨト、ドウモ不公平、諸君極マルヂヤゴザラヌカ、其邊ナ以テドウゾ御判断ヲ仰ギタイト思ヒマス

〔ヒヤクト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 採決ナ致シマス、二讀會ニ移スベシトスル諸君ノ起立ナ願ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス、故ニ否決セラレマシタ、次ノ日程ノ法案、即チ行政執行法中改正法案ハ委員長ノ請求ニ依リマシテ本日ノ議事日程カラハ除イテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十九ニ移リマス、東京市區改正土地建物處分規則中改正法律案、伯爵柳澤保惠君外一名提出、第一讀會

東京市區改正土地建物處分規則中改正法律案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治三十八年二月二十二日

提出者 伯爵柳澤保惠 伯爵廣澤金次郎
賛成者 伯爵大原重朝 伯爵廣澤金次郎

外四十五名

貴族院議長公爵德川家達殿

東京市區改正土地建物處分規則中左ノ通改正ス

第一條第三項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第二項ノ協議調ヒタル後又ハ内務大臣ニ於テ決定シタル後建物植物等ノ所有者ニ於テ所定ノ期間内ニ其所有物件ノ移轉若ハ引渡ナ爲ササルトキハ東京市參事會ハ之ヲ強制スルコトヲ得此場合ニ於テハ行政執行法第五

條及第六條ノ規定ヲ準用ス

〔伯爵廣澤金次郎君演壇ニ登ル〕

○伯爵廣澤金次郎君 諸君、本員ハ唯今一讀會ニ上ボリマシタ東京市區改正

土地建物處分規則中改正法律案ノ提出者ノ一人ト致シマシテ、簡單ニ提出ノ理由ダケナ申上ゲヤウト考ヘマス、殆ド此理由モ此終リニアリマスル理由書ニ書盡シテ居リマスカラ、最早述ブルコトハ少ナイノデアリマスルガ、併ナガラ一應述ベヤウト考ヘマス、此東京市區改正土地建物處分規則ト申シマスルノハ、明治二十二年ノ勅令デアリマス、此本員ナドガ改正シマセウト云フ第一條ハ、東京市區改正ニ要シマスル土地ヲ或ハ買收シ或ハ官有地ヲ無料ニテ供用シタ場合ニ、其上ニ在リマスル建物トカ或ハ植物ノ代價ヲ拂ヒマシテスル居住者ガ立退カヌ場合ニ於キマシテハ、今日ノ東京市ニ於テハ奈何トモスルコトガ出來ナイノデゴザイマス、故ニ片方ニ於キマシテハ地方稅ノ如キ

モノヲ以テ建物ヲ買收スルトカ或ハ移轉料ヲ出シテ置キマシテ、而シテ其居住者ガ立退カヌト云フ場合ニ於キマシテハ、市區改正ト云フモノハ進行スルコトが出來ヌ次第ゴザイマス、デ本員ノ如キ此帝都ノ住氏トシテハ成ルベ此市區改正ハ速ニ竣功セムコトナ希スルノ餘リ、此進行サセマスルニ必

要ナル強制權ト云フモノナ市參事會ニ與ヘタイト云フノガ本員ノ提出ノ根本ノ理由デゴザイマス、而シテ此強制權ヲ與ヘマスルニハ現行ノ行政執行法ノ第五條ト六條ノ規定ヲ準用スレバ差支ナイト考ヘルノデアリマス、ドウガ諸君ニ於カレマシテモ御審議ノ上ニ何卒本案ノ成立セムコトナ希望イタシテ置キマス、ドウガ本案モ議長指名ノ九名ノ特別委員ニ御付託ニナツテ御審議下サラムコトナ希望イタシマス

○伯爵柳澤保惠君 賛成
○伯爵柳原義光君 賛成

〔其他賛成ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 唯今ノ廣澤伯爵ノ此法案ヲ議長指名ノ特別委員九名ニ調査ヲ託スルト云フ說ハ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ議長ガ其委員ヲ選定イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 次ハ決算ニ關スル決議案デアルマスルガ、第二十ヨリ三十二マデ束ネテ委員長ノ報告アルコトヲ望ミマス、決算委員長坊城伯爵

明治三十三年度歲入歲出總決算並明治三十三年度各特別會計歲入歲出決算ヲ審査シ(一)内務省所管歲出臨時部第五款北海道起業費第一項北海道起業費中北海道廳浦河支廳ノ支出ニ係ル件(二)内務省所管官有地土地交換ノ件(三)農商務省所管歲出臨時部第四款製鐵所創立費ニ付テハ別紙決議案ノ通議決シ其ノ他政府ノ辯明中穩當ヲ缺クモノアリト雖別ニ決議案ヲ提出スルニ及ハスト議決セリ依テ及報告候也

明治三十八年二月二十一日 決算委員長

貴族院議長公爵德川家達殿

伯爵坊城俊章

繕及初度調辨費第一項營繕及初度調辨費ノ件ハ粗造工事ナルノミナラス不相當ナル高價ノ工費ヲ支出シ國庫ニ少カラサル損失ヲ生セシメタルモノニシテ不當ノ處置ナリト議決ス

決議案

貴族院ハ明治三十五年度總決算中農商務省所管歲出臨時部第三款製鐵所創立費第四項製鐵原料鑛山費ノ件、第十九款製鐵所創立補足費第一項工場費ノ件及明治三十五年度各特別會計歲入歲出決算中農商務省所管製鐵所歲出第一款製鐵所作業費第十項作場費ノ件ハ畢竟當局者ノ監督疎漫ニ失シタル結果豫算ヲ無視セル不當ノ處置ナリト議決ス

〔伯爵坊城俊章君演壇ニ登ル〕

○伯爵坊城俊章君 諸君、決算委員ノ経過及決議ノ結果ヲ報告イタシマス、此決算委員ニ於キマシテハ例ニ依リマシテ各分科會ヘソレノ_ク案ヲ分ツコトニナリマシテゴザイマシテ、各分科會ニ於キマシテ調査ヲサレマスノニモ、極短日ノ間ニ三箇年ノ調査ヲセヌナラヌモノデアリマスカラ、各分科ノ主任ニ於キマシテ非常ノ勉勵ヲ以テ二十一日間餘ニ決了サレタコトニアリマス、各分科會ヨリ報告ニナリマシテ直チニ總會ヲ開キマシタコトデゴザイマス、其總會モ丁度三日餘ノ日ヲ要シマシタコトデゴザイマス、段々調査ノ末種々質問議論等モゴザイマシタガ、遂ニ御手許ニ差出シテゴザイマスル決議案ヲ決シタヤウナ次第アリマス、此決議案ノ外ノモノハ穩當ヲ缺クモノアリト申シナガラ別段ニ決議案トシテ差出スト云フ必要ガ無イト云フ議決ナ致シマシタ、サリナガラ是等ノ件ニ付キマシテハ尙後來政府ニ於キマシテ大ニ注意ヲサレムコトナハ其ノ際深ク希望シテ置イタコトデゴザイマス、又政府第一ノモノハ即チ御手許ニゴザイマシテ御承知デゴザイマスガ、總武鐵道株式會社、即チ横綱町ノ陸軍省用地ト錦糸町外二箇所ノ地所トノ交換デアリマス、是ハ即チ交換ノ仕方が官有地取扱規則ノ第八條ニ違反シタモノト決議ヲ致シタノデゴザイマス、其理由ハ此土地近傍ノ評價均シキモノデナケレバ交換ヲスル譯ノモノデナイ規定デゴザイマスルニモ拘リマセズ、單價ノ上ニ付キマシテハ僅カ一圓何十錢クラキノモノデアリマスルケレドモ、要シマスル

ニ此横綱町ノ地面ト錦糸町ノ地面トハ大體ノ上ニ於キマシテ非常ナ違ヒデゴザイマスル固ヨリ御承知ノ通り横綱町ニ於キマシテハ水運ノ便モアリマスルシ十分發達ナシテ居ル土地デゴザイマスケレドモ、錦糸町外二箇所ニ於キマシテハ田圃ノ中ミタヤウナ所デゴザイマス、其評價ハ單價ニ於キマシテ格別差ガ無イト申シマスルモノハ、色く其土地ノ上ニ工作ヲ加ヘマシテ、橋梁或ハ土ノ盛リ方又ハ建物等ノモノハ、即チソレヲハ明ニ土地ノ代價ト別々ニセヌナラヌモノナバ混入シタ所ノコトニナッテ居リマス、是ガ検査院ヨリシテカラニ不當ト認メル非難デゴザイマス、併シソレヲナ集メマシタル代價ノ上ニ付テハ殆ド僅ニ時價十圓以内ノ所デ、一圓クラキノ差デゴザイマスケレドモ、此取調方總テノモノガ不十分ナリトシテ検査院デハ非難ヲシテ居ルコトデゴザイマス、成ルホド是等ニ於キマシテハ決シテ相當ナモノデハナイ、即チ不當ノ支出ナリト認メザルナ得ヌノデ、之ヲ以テ第八條ニ違反……官有地取扱規則ノ第八條ニ違反シタモノト決シマシタノデゴザイマス、其次ハ兵庫縣ノ神戸市ノコトデアリマスガ、是モ決議案ニゴザイマスル通リノモノデ、是モ平均ニ於キマシテハ甚ダ取調上其外不都合ノ點ガアリマシテ、即チ代價ノ上ニ付キマシテハ且ツ比隣ノ比較ヲ取リマスル上ニ付テモ甚ダ不取調ノ點ガゴザイマシテ僅ニ似タモノノヤウナ事デアリマスガ、又是ハ比較ヲ取リマスガ、固ヨリ御承知デゴザイマセウガ官有地取扱規則ノ第八條ト申シマスルモノハ斯ウ云フ條文デゴザイマス「官有地ト民有地ノ交換ハ兩地ノ坪數及價格稍相均シキモノニアラザレバ之ヲ爲スコトヲ得ス」斯ウ云フ條文ニナッテ居リマスル、即チソレニ違反シテ居ルモノナリト決議ヲシタノデゴザイマス、ニ於テモ物ニ依リマシテハ注意ヲスルト云フヤウナ御話モゴザイマシタ様ナコトデゴザイマス、此三十三年度ニ於キマシテ決議案トシテ出テ居リマスル第一ノモノハ即チ御手許ニゴザイマシテ御承知デゴザイマスガ、總武鐵道株チヨット前ニ戻リマシテ、私ハ此案ノ一枚明ケマシテ其後ヲ今申上げタノデゴザイマスガ、其前ニマダ一案ゴザイマスルカラ少シ元ヘ戻リマシテ此事ヲ申上げマス、此事ハ北海道ノ件デゴザイマス、北海道起業費……第一項ノ北海道起業費中北海道廳費、浦河支廳ノ支出ニ係ルモノデゴザイマスガ、此國道ノ造リ方デゴザイマス、詰リ搔摘ンデ申スレバ選定ノ結果宜シキヲ得ナンダ爲ニ無用ノ支出ヲ要シタノハ即チ不當ノ支出デアル、斯ウ云フ事デゴザイマス、ソレハ如何ナル所ヨリシテ此不當ノ支出ナリト云フノデアルカト申シマスレバ、即チ此選定ハ初メ國道ノ積リデ選定ヲシタノデヤサウデゴザイマ

スガ、實際ニ於キマシテハ坂路モ澤山アリ、種々ノ都合ガアツテカラニ遂ニ
是ハ國道ヲ止メテ殖民道路トスル、即チ殖民道路トシマシテハ間ニ合ハヌコ
トガ無イが併シ國民道路トシテハ甚ダ不都合デアル、目下實際ノ所ハ旅人等
モ其所ヲ通ラズシテカラニ海岸ノ方ヲ通ツテ居ル、且又國道ハ平坦デモアリ
便利デモアルナラバ此所ヲ選定スルモ宜シウゴザイマセウケレドモ、坂路モ
アリ且十分迂廻モシテ居ルカラ、遂ニ今日ハ棄テザルヲ得ヌ、遂ニ國道トシ
テ開クコトガ出來ナシダト云フコトハ是ハ初メカラ分ツテ居ル話デ、是カラ
キナ調査ハ初ニ十分慎ンダナラバ今日之ヲ棄テルヤウナコトモ無カッタノデ
アラウ、外ニ彼是レノ事デ之ヲ棄テタト云フヤウナコトデゴザイマスルガ、
是ナドハ抑初メチ慎マズ選定宜シキヲ得ナカッタ結果、無用ノ工費ヲ支出セ
ネバナラヌト云フコトニナリマシテ、即チ不當デアルト委員會ハ決シマシタ
ヤウナ次第、其次ハ一番終ヒニ參リマシテ製鐵所ノ件デゴザイマス、御参考
ニ御手許ニ上ガツテゴザイマス検査院ノ報告、政府ノ辯明等ハ御参考ノ爲ニ御
手許ニ上ガツテゴザイマスルデスガ、是ハ畢竟當局者ノ監督ガ疎漫ニ失シタ
結果、豫算ヲ無視セル不當ノ處置ト決シマシタ次第デゴザイマス、マア豫算
ヲ無視セルト云フ點ニ付キマシテハ隨分其中ニ含有ハシテ居リマスガ、其重
モナルモノハ年度中ノ金ハ既ニ使ヒ盡シテ豫算ノ餘ガ少キニモ拘ラズ或ル商
會ニ機械ヲ註文シテ遂ニハ追加豫算ヲ提出シタ所ガ、其豫算が通過シナンダ
爲ニ已ムヲ得ズ第二豫備金ヲ支出シタト云フ事柄ニ於キマシテモ、是ナドモ
豫算ヲ無視シタ所ノ一點デゴザイマス、其外、後年度ニ於テハ段々ゴザイマ
スガ、ソレハ三十四年度ノ所ニ於キマシテ決議案ヲ出シテゴザイマス、是ハ
御承如ノ如ク繼續事業デゴザイマシテ二十九年度ヨリシテ始ツテ居ル譯デゴ
ザイマス、斯様ノモノダケヲ三十三年度ニ於キマシテハ決議ヲ致シマシタコ
トデゴザイマス、固ヨリ此外ニモ段々ゴザイマスガ、初メ申上ゲマシタ通り
決議案ヲ出スマデニハ至リマセヌデゴザイマシタ、其他ハ悉ク穩當ノモノト
ハ認メラレヌ分モ多々ゴザイマスヤウナコトデゴザイマス、其他ニ於キマシ
テハ總テ大部分ハ異議ナクシテカラニ委員會ハ通過イタシマシタコトデゴザ
イマス、尙御質問モゴザイマセウト存ジマスガ、三十五年年度マデノ所ヲ申
上ゲテ置キマス積リデゴザイマス、是デ三十三年度ハ終リマシテゴザイマス、
其次ハ三十四年度ニ移リマス、三十四年度ニ於キマシテモ總テノ上ニ於キマ
シテ穩當ヲ缺クト云フ所ノモノハ隨分澤山ゴザイマスルガ、併ナガラ是ハ別

段ニ決議案ヲ出ス程ノモノハゴザイマセヌ、唯政府ニ注意ヲ促シ置キマスル
必要ガゴザイマシテ、是等ハ十分注意ヲ促スベキモノデアルト云フ所ノ報告
ヲ出シ置キマシタヤウナ次第デゴザイマス、此第一、初メニゴザイマスル陸
軍省所管ノ歲出臨時部ノ初度調辦費ノ中デゴザイマス、是ハ粗造ノ工事デア
ルノミナラズ不相當ニ高價ノ工費ヲ支出シテ國庫ニ少カラヌ損失ヲ生ゼシメ
タル不當ノ處置ト議決ナシタノデゴザイマス、是ハ委員會ニ於キマシテモチ
ヨツト其決議ヲ致シマシタ委員會ノ模様ヲ申上ゲテ置キマスガ、委員會ニ於
キマシテハ是ハ決議案ヲ出スマデニハ當ルマオ、不當ノ支出、穩當ナラヌ處
置ニハ相違ナイガ、決議案ヲ議場ニ提出スルマデノコトニハ當ルマイト云フ
說ガゴザイマシテ、是ハ採決ノ末、決議案ヲ出スベシト云フ者ガ多數ニ依ツテ
決議案ヲ出スコトニナリマシタヤウナコトデゴザイマス、ソレデ前ノ所ヲチ
ヨツト申上ゲマスガ、三十四年度ノ方ニハ斯ノ如キ決議案ヲ出シ、サウシテ
三十三年度ノ方デハ決議案ヲ出サヌノハ如何デアルト云フ御考ガゴザイマセ
ウカラ、其事ヲヨツト念ニ申上ゲマスガ、三十三年度ニ於キマシテハ未ダ工
事ノ粗造デアルカ如何ト云フコトヲ見出スマデニ進ンデゴザイマセズ、又價
ガ高價デアルカ廉イカ、三十三年度デハ十分ニ分ラヌノデゴザイマス、ソレガ
三十四年度ニ於キマシテ十分ニ分リマシタカラ茲ニ決議ヲスルト云フ譯デ、
三十三年度ノ所ニ検査院ノ非難ガゴザイマシタノハ、三十一年ノ勅令ニ依ツテ
隨意契約ナシタノガ不都合デアル、決シテ左様ナ不便ナ土地デハナイ、決シ
テアノ勅令ヲ用キルニハ及バヌト云フノデ段々非難ガゴザイマシタガ、成ル
ホド鐵道ハ通過……通ツテ居ルシ其他便利ハ隨分アルヤウニ思ハレルガ、併
ナガラ當時ノ彼地ニ於テノ便不便ハ餘ホド深ク是ハ慎重ニ考テ起サナケレバ
ナラヌコトデアル、強チ鐵道ガ通ツタバカリガ即チ便利デアルト云フモノデ
ナイン、又工事ノ大小ニモ依リ種々ノ關係モアルカシテ、是等ハ慎重ニ注意ヲ
シナケレバナラヌ所デアル、ト云フヤウナ所ゴザイマシタ、之ニ付テモ決
議案ヲ出サウト云フコトモゴザイマシタガ、遂ニソレハ少數ニシテ決議案ヲ
出スニ至ラズシテ、其不便ノ土地デハ萬已ムヲ得ヌコトデアル、併ナガラ穩
當ノ所置トハ思ハヌ、併ナガラ其當時ニ鑑ミテ萬已ムヲ得ザルモノデアラウ
ト云フ所カラ、委員會ハ決議案ヲ出サヌト云フコトニ採決ノ未決シマシタ
スルナレドモ、右ノ違ヒガゴザイマス爲ニ三十三年度ニハ委員ヨリハ決議案

ヲ提出イタシマセヌ、ソレデ念ノ爲ニチヨット申上ゲテ置キマスガ、此旭川ノ件ハ粗造ノ工事デアルト云フノデゴザイマスガ、其工事が悉ク粗造デアルカト云フト、サウデモゴザイマセヌ、中ニハ粗造デナイ所モゴザイマスガ、検査院ノ報告ニ依ツテ見マスレバ、隨分箇所箇所ニ粗造ノ所ガアル、即チ全ク監督ノ不行届デアル、ソレガ爲ニ不相當ノ高價ノ費用ヲ支出シテ國庫ニ損失ヲ生ジタ云フ非難デゴザイマスガ、如何ニモ是ハ其非難ノ通リ已ムヲ得マセヌコトデゴザイマセウト思ヒマス、其次ハ三十四年度ノ各特別會計歳入歳出決算中内務省所管臺灣總督府歳出臨時部デゴザイマス、其特別事業費臺灣鐵道建設及改良費ノ中、打狗ノ南端ノ本線築堤工事ノ件デゴザイマス、是モ其設計宜シキヲ得ズシテカラニ遂ニ無用ノ工費ヲ費シタニ歸シマシタニ付キマシテハ不當ノ處置デアルト云フ決議デゴザイマス、此打狗ノ築堤ト申スモノハ、諸君モ御承知デゴザイマセウガ浪ノ荒イ所デゴザイマスシ、其他隨分難工事デゴザイマスデゴザイマセウ、サリナガラソレハ固ヨリ分ッタ事デゴザイマシテ、ソレガ爲ニ、大キナ海嘯ガアッタト云フ時モゴザイマセズ、固ヨリ風波ノ荒イト云ブコトハ極ッタ前デアリマスガ、遂ニ工事半バニシテ一タビ激浪ノ爲ニ洗ヒ去ラレテ基礎マデ無クシテ、再ビ之ヲ築クコトガ出來シテ、或ハ停車場ノ位置ヲ變ヘネバナラヌト云フヤウナ餘ホド混雜ヲ起シタコトデヤサウデゴザイマス、其通リノ報告ニナツテ居リマス、是等ハ固ヨリ能ク初メヨリ經畫ヲ立テマシタナラバ遂ニ此ニ至ラズシテ濟ンダンデアラウガ、ソレ等ハ隨分宜キヲ得ザル、結果デアル、是ナドノ支出ハ不當ノ支出ナリト決シタ譯デアリマス、次ハ農商務省所管ノ製鐵所デゴザイマス、是ガ前年度ヨリシマシテ即チ續イテ參ツテ居ルノデゴザイマスガ、此中ニ括弧ガシテゴザイマスノヲ除クト致シマシタノハ、是ハ政府ノ辯明ヲ認メタノデゴデイマシテ、是ハ検査院ノ申スヨリハ寧ロ政府ノ辯明ハ已ムヲ得ナイ所デアラウト云フノデ是ハ認メマシタ、其他ニ至リマシテハ豫算ヲ無視スル不當ノ處置ナリト議決シタノデアリマス、全體ニ此作業費ノ項目中ニ於キマシテ、「ロール」機トカ或ハ熔鑄爐ノ機械、其他種々ノ機械ハ製鐵所創立費支出しベキモノデアルニ、ソレニモ拘ラズ設立費ハ既ニ他ニ使ヒ果シテ仕舞ヒマシタ爲ニ作業費中カラ之ヲ機械費ニ支出ナセバナラヌト云フ次第ニナツタノデアリマス、是等ヲ矢張リ前ト同様ノ續キ合ナ以チマシテ不當ノ處置ト議決イタシマシタ譯デゴザイマス、三十四年ハ是ダケノ決議デゴザイマシタ、次

ハ三十五年デゴザイマス、三十五年ニ於キマシテモ同様デゴザイマシテ、他ニモ隨分穩當ヲ缺クト云フモノハ多少ゴザイマシタガ、別段ニ決議案ヲ出スト云フマデノモノハ無イト云フコトニ決シマシテゴザイマス、此第一ノ決議案ハ即チ前年度カラ繼續シテ居ル旭川ノ所デゴザイマシテ、同ク同文デゴザイマス、是ハ前段デ申述ベタ通りデアリマスカラ此所デハ繰返シマセヌ、次ハ矢張リ農商務所管ノ歳出臨時部ニ於キマシテ出マシタ所ノ製鐵所創立ノ費デゴザイマス、其他ニ三箇所デゴザイマスガ、皆同様ナ場所デアリマス、是ナドモ詰リ豫算ヲ無視シマシタ、ト云フモノハ詰リ當局者ノ監督疎漫ヨリシテカラニ此結果ニ至リマシタ譯デゴザイマスルガ抑、此若松港ノ浚渫ノ事ニ付キマシテハ三十四年度ニ於キマシテ全部ヲ全ク濟マサヌナラヌニモ拘リマセズ其以降三十九年マデノ契約ヲシタト云フノハ、即チ法律ヲ無視シタ譯ノモノデゴザイマス、三十四年度外ハ即チ創立費ノ外ノモノデゴザイマスカラ、ソレヨリ以上ニ契約ヲ致シマスルト云フナラバ、即チ更ニ豫算外國庫ノ負擔ト致シマシテ議會ノ協賛ヲ經マセヌケレバナラヌノデゴザイマスガ、其途ニ出テ居リマセズニ唯三十九年マデノ契約ヲシタト云フノハ即チ法律ヲ無視シタ譯デアリマス、之ヲ以チマシテ不當ノ處置ト議決ヲ致シマシタ譯デゴザイマス、併ナガラ年限ハ斯ノ如ク延ビ、手續上ハ今ノ如ク協賛ヲ經ベキモノヲ經マセナシダノデゴザイマスガ、金ノ上ニ付キマシテハ變リハゴザイマセヌ、金高ハ豫算ニ於テ協賛ヲ求メタ金高デゴザイマス、年限ガ延ビマスノト、年限ガ延ビマスニ付テハ協賛ヲ經ネバナラヌノナ協賛ヲ經テ居ラヌ、即チ不法デアルト云フコトデゴザイマス、金ノ上ニ付キマシテハ別段ニ變リハゴザイマセヌ、誠ニ委員會ニ於キマシテハ右様ダケノモノナ決議ヲ致シマシタ次第デゴザイマス、尙此事ニ付キマシテモ種々御質問モゴザイマセウト存ジマスガ、私ハ一々御答辯ヲ申シマスコトガ、得ル限りハ申シマセウシ、又各分科ニ別ケテ調査ヲ致シマシタコトデゴザイマスカラ、各分科ノ諸君モ御居ニナリマスカラ尙各分科御調ベニナリマシタ所、細密ナ所ナ御質問ニ應ゼラレルヤウニ致シタイト存ジマス、尙モソレハ御都合御質問ニナルコトナ願ヒマス、先づ簡單ニ大要ダケテ御報告ヲ致シ置キマス

○子爵堀田正養君 唯今委員長カラ御報告デアリマシタガ、即チ旭川ノ……

○議長(公爵德川家達君) 堀田子爵ニ申シマスガ報告ハ東ネマシタガ、第一ニ問題ニナツテ居ルノハ議事日程第三十ノ決議案ノミナ問題ニ供シテゴザイ

イマス

○子爵堀田正養君 三十三年ニモ關聯ナシテ居リマスカラ申シマス、ソレハ
三十四年度、三十五年度ノ分ニハ即チ決議案が出て居ルノデゴザイマスガ、此
工事ハ明治三十二年ニ起工ナシテ居ルノデゴザイマス、ソレデ三十三年度ニ
モ矢張リ此明細書ヲ見テモ検査院ハ工事ノ請負等ヲ隨意契約ニシタト云フコ
トニ付テハ明治三十一年勅令三十八號ニ違反シタルモノデアルト云フコトヲ
以テ不當ダト云フコトヲ報告シテ居ル、其點ニ至ツテハ三十四年ト三十五年
ト同一デアリマスカラ、其點ニ付テハ尙能ク取調べテ或ハ決議案ノ提出ガ必
要ト云フコトニ、三十三年ノモ、ナルカモ知レヌト思ヒマスカラ、此決議案
ヲ決スルコトハ次會ニ御延バシナラムコトヲ希望イタシマス、ドウカ諸君ニ

○議長（公爵徳川家達君） 堀田子爵ニ申シマスガ、明治三十三年年度ノ決算ニ關スル決議案デスカ、或ハ三件トモデアリマスカ

○子爵堀田正養君、三十三年ノ方ハ宜シウゴザイマス、三十四年度ガ更ニ別ニ出ルヤウニナラウト思ヒマス、若シ本員ノ述ベルヤニナリマスト……此案

ニハ關係ハ少イ、別ニ出ル譯デアリマス、事柄ガ違フ
○子爵岡部長職君 チヨット堀田君ノ發議ノ意味ヲ明ニシタイト存ジマスデ
質問イタシマスガ、第一ノ案ノ決議ヲ延バスト云フ御考デアルカ、三案トモ
延バスト云フ御考デアルカ、ソコダケヲ簡單ニ……

○子爵堀田正養君 二案二案ヲ御延バシ下サルヤウニ……少シ間違ヒマシ
タ、三十三年ノ分ヲ御延バシ下サレバ四年五年ノ方ハ宜シイ
○議長(公爵徳川家達君) 堀田子爵ニ尙伺ヒマスガ、サウシマスト議事日程
ノ第三十ノ決議案ハ全部延期ト云フ御希望ナンデスカ、サウ心得テ宜シウゴ
ザイマスカ

○子爵堀田正養君 左様デゴザイマス
○子爵三島彌太郎君 堀田子爵ニ賛成

○子爵岡部長職君
○子爵青木信光君
贊成

○子爵曾我祐準君 堀田子爵ノ三十二年度ニ係ル決議ヲ延バスト云フ主意ヲ
少シ承リタウゴザイマス、明瞭イタシマセヌカラ……チヨット簡単デ宜シウゴ
ザイマス、要領ノアル所ヲ……

子爵堀田正養君 本員ハ少シ辯ガ惡ルカッタノデ御分リニナラナカッタカ知
ハ三十二年度ヨリ著手シテ居ルノデゴザイマス、ソコデ其入札法等ニ付テ
検査院モ不當ナリト云フコトヲ申シテ居ル、政府モ其通リデアルト云フヤ
ナコトガ明細書ニ見エルヤウデアリマス、ソレ故ニ能ク取調べテ別ニ三十
年度ノ決議案ノ中ヘ入レタイト云フ考デアリマスカラ延期ヲ願ヒマス
子爵稻垣太祥君 私ハ決算委員デアルニ拘ラズ堀田君ノ意見ヲ賛成イタシ
ス、斯ノ如キコトハ能ク取調べテ十分遺憾ノ無イヤウニ致シテ置ク方が宜
ラウト思ヒマス

議長（公爵徳川家達君） 決ヲ採リマス、堀田子爵ノ延期説ヲ可トスル諸君
起立者 多數

議長（公爵徳川家達君） 多數ト認メマス

議長（公爵徳川家達君） 議事日程ノ第三十一並第三十二ノ決議案ハ御異議
會議ニ移リマス、請願委員長ニ伺ツテ置キタウゴザイマスガ、是ハ一々御說
一ナリマスカ、御説明ヲ御省キニナリマスカ

伯爵徳川達孝君 若シ御尋デゴザイマスレバ兎モ角デゴザイマスガ、サモ
ケレバ態々説明ヲ致サヌ積リデアリマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

議長（公爵徳川家達君） 然ラバ決算委員長ノ報告通ニ決シマス、次ハ請願
會議ニ移リマス、請願委員長ニ伺ツテ置キタウゴザイマスガ、是ハ一々御說
一ナリマスカ、御説明ヲ御省キニナリマスカ

坂上田村磨ノ建社ニ關スル件
請願、會議
意見書案

○議長（公爵徳川家達君） 議事日程ノ第三十一並第三十二ノ決議案ハ御異議ナケレバ束ネテ採決イタシマス、決算委員長ノ報告通デ御異存ゴザイマセヌ力
〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕
○議長（公爵徳川家達君） 然ラバ決算委員長ノ報告通ニ決シマス、次ハ請願ノ會議ニ移リマス、請願委員長ニ伺ツテ置キタウゴザイマスガ、是ハ一々御説明ニナリマスカ、御説明ヲ御省キニナリマスカ
○伯爵徳川達孝君 若シ御尋デゴザイマスレバ兎モ角デゴザイマスガ、サモナケレバ態ニ説明ヲ致サヌ積リデアリマス

意見書案

坂上田村麿ノ建社ニ關スル件
京都市上京區東洞院通押小路南入船屋町平民市吏員内貴甚三郎外八十
六名呈出

右ノ請願ハ坂上田村磨ハ桓武平城嵯峨ノ三帝ニ歴事シ猾亂窮リナク常ニ王化ヲ阻ミシ蝦夷ヲ征服シ以テ東陲虞ナク百姓堵ニ安スルヲ得セシメ又平城帝ヲ扶ケテ尙侍藥子ノ亂ヲ戡定シタル等其ノ大功偉勳ハ以テ天智帝ニ於ケル藤原鎌足、宇多帝ニ於ケル菅原道真、後醍醐帝ニ於ケル楠正成ニ比スヘシ故ニ國費ヲ支出シ以テ速ニ建社シ相當ノ神號ヲ賜リ官幣社ニ列セシメラレタシトノ旨趣ニテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十一年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○子爵堀田正養君 此唯今問題ニサツテ居ル所ノ請願ノ會議、是ハ既ニ本院建議ノ議案ノ通過シテ居ル所ノモノト同ジデアルト思ヒマスカラ、又更ニ茲デ政府ニ此事ヲ通知スルニハ及バヌダラウト思ヒマスカラ、本員ハ是ダケハ削除イタシタイト思ヒマス

○子爵板倉勝達君 贊成

○伯爵大原重朝君 贊成

○伯爵堀城俊章君 贊成

○高木兼寛君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 堀田子爵ノ動議ニ贊成者ガゴザイマスカラ採決ヲ致シマス、堀田子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ堀田子爵ノ動議ノ通リ決シマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三十四、邦土開放ニ關シ法令廢止及創定ノ請願、會議

意見書案

邦土開放ニ關シ法令廢止及創定ノ件

東京市牛込矢來町三番地平民著述者福本誠外六名呈出

右ノ請願ハ外人ニ土地ノ所有鑛山ノ經營及地上物件ノ所有ヲ許シテ帝國々是ノ大方針ヲ明カニシ外資ノ流入ヲ利導シ併セテ韓滿ニ於ケル制度モ我方方針ニ倣ハシメムカタメ先ツ我國明治六年太政官第十八號布告ノ廢止及外人鑛業經營禁止ニ關スル鑛業條例第三條ノ削除並鐵道擔保ニ關スル法案ヲ

議決シ以テ之カ實行ヲ國家ニ促サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十一年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○子爵曾我祐準君 本案ニ付テ少シ御尋イタシタウゴザイマス、本案ノ趣意ガドウモ私ニ能ク分ラヌノデアリマス、先づ第一行ノ所ヲ讀ミマスト「外人ニ土地ノ所有鑛山ノ經營及地上物件ノ所有ヲ許シテ帝國々是ノ大方針ヲ明カニシ」トアリマスガ、此土地ヲ外國人ニ所有サスルコトヤラ、鑛山ノ經營ヲ外國人ニサスルコトヤラ、斯ノ如キ事ヲ以テ帝國ノ國是ノ大方針ト言ヒ得ルヤ否ヤ、日本ト云フ國ハ外國人ヲ入レテ事業ヲサスルコトバカリガ國是ノヤウニ見エマス、ソレカラ次ノ第二行ニ「我國明治六年」ト云フコトガアル、我國ノ外ニ明治六年ト云フモノガアルデアリマセウカ、是ガ不思議デアル、ソレカラ第三行ノ所ヘ行キマスト「鑛業條例第三條ノ削除」是ハ削除ニナツテモ宜シウゴザイマセウカ、此間茲デ捨ヘマシタ鑛業法ノ第五條ト衝突ハシマセヌカ、

其次ニハ「鐵道擔保ニ關スル」トアリマス、是ハ即チ茲デ議シマシタ鐵道抵當法ニ當ルノデアリマス、サウスレバモウは等ハ既ニアレニ當ルナラバ鐵道法案等ハ衆議院ヲ通過シテ居ル、ドウモ全體が甚ダ要領ヲ得マセズ衝突ヲシタリ妙ナコトニナツタリスルヤウニ思ヒマスカラ、果シテ本請願ノ趣意ガ斯様ナコトデアリマスナラバ此文章デハドウモ私贊成が出來マセヌ、削除ニナラムコトヲ……

○子爵谷干城君 贊成

○子爵堀田正養君 贊成

○伯爵堀城俊章君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 唯今ノ曾我子爵ノ御說ハ議事日程カラ削除スルト

云フ御說ト伺ツテ宜シウゴザイマスカ

○子爵曾我祐準君 議事日程カラ削除デハアリマスマイ、議事日程ニ依ツテ議

シヨルノデアリマスカラ……之ヲ政府ヘ回スコトヲ削除スル……

○議長(公爵德川家達君) サウスルト曾我子爵ノハ政府ヘ回サヌト云フ御趣意ト伺ツテ宜ウゴザイマスカ

○子爵曾我祐準君 左様

○伯爵德川達孝君 曾我サンノハ御尋ノヤウニ伺ヒマシタガ、御尋デシタカ、

御意見デシタカ、ドッヂデス

○子爵曾我祐準君 左様デゴザイマス、少シ申上ダヤウガ惡ウゴザイマシタ、ドウゾ御答が出來レバ承リタウゴザイマスガ、別ニ請願委員長ニ伺ッテ大シテ攻撃ナスルト云フ趣意デゴザイマセヌ、斯様ナ不都合ガアリマスカラ……

○伯爵徳川達孝君 然ラバマア御意見ト存ジテ居リマスカラ、敢テ私ハ申スニ及ビマセヌケレドモ、唯漠然ト出シタカト云フ、ソレダケナチヨット辯明シテ置キマスガ、前ノコトノ文章ノコトハ請願書ニ其儘ノモノデ、アトノ所ハ

如何サマ御考ノ通り鑛業條例第三條云々ト云フノデアリマスガ、全體ナラバ本院デ議決ニナツタ法律ニ關係シタコトデゴザイマスカラ撤回シヤウト云フ話デゴザイマシタガ、全體デ無ク或ル部分ハアリ、或ル部分ハ無イノデアルカラ免ニ角出サウト云フコトデアリマスカラ、採擇セヌト採擇スルト云フコトハソレハ御考次第ニ任セマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、曾我子爵ノ此意見書ヲ政府ヘ送付ナヤメルト云フ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ナ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 多數ト認メマス
起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三十五ニ移リマス、水利組合條例改正ノ請願

意見書案

水利組合條例改正ノ件

新潟縣中頸城郡板倉村平民山崎久太郎外三百八十三名呈出

右ノ請願ハ法律第四十六號水利組合條例ハ組合ノ管理者ナ市町村長ニ限りアルナ以テ小用水ノ保護ニ適セス又該條例ハ水利組合ノ組織ニ重キナ置キ從テ其ノ保護方法モ亦此組合ノ自由行動ニ委スルヲ以テ舊慣遺法漸ク荒廢シ其ノ弊害續出シ遂ニ用水灌溉ノ困難教フヘカラサルニ至ル是レ該條例ノ精神放漫ニシテ法文粗笨ナルノ致ストコロナルカ故ニ具案ノ通り改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願書ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年 月 日

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

貴族院議長公爵徳川家達

○子爵曾我祐準君 唯今ハ三十五デゴザイマスカ

○議長(公爵徳川家達君) 三十五デアリマス

○子爵曾我祐準君 請願委員長ニ色く小言ナ言フヤウデアリマスガ、此初二「法律第四十六號」トアリマスガ、是デ分リマスカ、何年ト云フコト言ハズニ……法律四十六號ト云フノハ幾ツモアリマスガ……

○伯爵徳川達孝君 是ハ或ハ事務局デ書クノナ間違ヘマシテ調べ落チデアリマセウガ、ソレハ調べタラ分ルコトデアリマス

○子爵曾我祐準君 此案ノ第四行ノ終リノ方ニ「故ニ具案ノ通リ」トアリマスガ、何カ「具案」ト云フモノガアリマスカ、ドウモ案ナ具ヘタモノガアルヤウニ思ヒマス、ソレガ此所ニ無イモノデアリマスカラ讀メヌヤウニナリマスガ、是モ御尋ナシテ置キマス

○伯爵徳川達孝君 チヨット伺ヒ落シマシタカラ、モウ一應ドウカ御述ナ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 第四行ノ終リデス

○伯爵徳川達孝君 ア、此「具案」デスカ、「グアン」ト云フコトデスカラ私ハ「愚」ト云フ字カト思ツテ居リマシタ、是ハ具ヘテ居ルト思ヒマスガ、尙ホ委シイコトハ水利組合ノ請願ナ調ベタ委員モ居ラウト思ヒマスカラ其御方カラ御答辯ナ願ヒマス、水利組合ハ水野子爵が御擔任カト思ヒマスガ間違ヒマシタラバ……

○子爵水野直君 確カニ附イテ居ツタカト思ヒマスガ嚴格ナ御答ハ出來マセヌ、取調べテ見マス

○子爵曾我祐準君 本員が此案ヲ讀ミマスル所デハ、具案ト云フモノガ無ケレバ此趣意ハ徹底シマセヌヤウデゴザイマスケレドモ、ドウモ甚ダ何デゴザイマスケレドモ、請願委員ノ方デ今一度御調査ニナツテ、今日決議ナ御延バシリタク考ヘマス、請願ト申シマスルト云フト兎角等閑ニスルヤウナ傾向ガゴザイマスルガ、人民ハ請願ナスルニハ非常ナ熱心ナ以テ費用ナ掛ケ澤山ノ委員等ナ立ツテ出テ來マス、又政府ノ方ヘ出マスルト唯貴族院バカリ通スノガ能デアリマセヌ、隨分取捨ハ明ニシテ理窟ノ分ルヤウニシテ通過サセルノガ本院ノ體面ダラウト思ヒマス、誠ニ小サイコトナ小言ナ言フヤウデアリマスガ、ドウゾ延期ニナラムコトナ

〔其他 賛成ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、曾我子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ曾我子爵ノ動議ノ通り延期イタスコトニ致シマス

〔伯爵柳澤保惠君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 柳澤伯爵ハ……

○伯爵柳澤保惠君 チヨット一言請願委員トシテ申上ゲタウゴザイマスガ、

唯今曾我子爵カラシテ粗漏ナ調査ヲスルト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ

私ドモ新前デゴザ企マシテ、先例ハ存ジマセヌガ、此度ノ請願委員會ハ餘ホ

ド慎重ノ態度ヲ以テ審查イタシタノデアリマス

○子爵曾我祐準君 今ノハ柳澤伯ハ全ク御聞違ヒデアリマス、請願委員會ガサウトハ申シマセヌ、請願ヲ通過スルコトガ動モスレバ等閑ニナルト申シタノデ、是ハ速記録ヲ御覽ニナッテモ分リマスシ、諸君ノ御耳ニモ必ズ這入ツテ居ルト思ヒマス、決シテ左様ナ御無禮ハ申シマセヌ

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三十六ニ移リマス、旱害地租特別免除ノ請願、會議

意見書案

旱害地租特別免除ノ件

佐賀縣佐賀郡川上村村長松田茂致呈出

同縣藤津郡南鹿島村村長酒見次吉呈出

同縣杵島郡山口村村長田口文次外二名呈出(三通)

右ノ請願ハ請願人等ノ地方明治三十七年春夏ノ交旱天百餘日ニ亘リ一滴ノ降雨ナク水陸ノ農作物枯槁シ加フルニ初秋霜害ヲ以テシ收穫皆無ニ歸シ細民饑餓ニ瀕スル悲慘ノ状態黙視スルニ忍ヒス明治三十六年法律第三號灾害

地租延納ノ規定ハ之ヲ救フニ適セス故ニ先年ノ水害腐敗稻田ノ例ニ依リ旱害地租及同附加税等特別免除處分法ヲ制定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○田中芳男君 唯今ノ問題ハ疾ク本院ヲ否決ニナリマシタ所ノ災害地地租免除ニ關スル法律案ト關聯シテ居ルヤウニ考ヘマスガ、果シテ同ジ趣意ナラバ先刻ハ否決シテ、此案ヲ通過セサルト云フコトハ少シ如何デアラウカトモ考ヘマスガ、委員長ニ於キマシテハ如何御考ヘニナリマスカ

○伯爵廣澤金次郎君 今田中君ノ御説ノ通り私ハ此旱害地地租特別免除ノ請願ヲ政府ニ回付スルコトヲ御止メニナルコトヲ希望シマス、ナゼナラバ先ホド之ト正反対ノ決議ヲ致シマシテ又コヘ地租ノ免除ノ請願ヲ政府ニ出スト云フコトハ實ニ本院ノ體面ニ關ハルコトデスカラ是ハ回付セザルト云フ決議ニナルコトヲ希望イタシマス

○伯爵柳原義光君 私ハ此際請願委員租稅科ノ主査デゴザイマシタカラ此意見ニ付テハ少シ廣澤伯爵ト反対ノ意見ヲ持ツテ居リマスカラ簡単ニ述べテ置キマス、詰リ災害地地租免除ト内容ガ似テ居ルト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、免ニ角請願者ガ請願書ヲ提出シタ理由ニ依ツテ見レバ、免ニ角細民饑餓ニ瀕シ云々默視スルコトガ出來ナイデ水害腐敗稻田ノ例ニ依リ旱害地租特別免除ノ處分法ヲ制定セラレタシト云フ譯デゴザイマスカラ、ソレデ是ハ免ニ角一應政府ノ参考ニ供シテ然ルベキ性質ノモノニアラウト云フノデ主査會デモ審議イタシマシタ結果、請願委員ノ總會ニ持出シマシテ、サウシテ請願委員會ハ可決イタシテコヘニ參ツタモノデゴザイマスカラ一應此成行キマス單ニ申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 採決ヲ致シマス、議事日程第三十六ノ請願ヲ送付スペシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵徳川家達君) 少數ト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三十七、裁判所存置並裁判管轄變更ノ件

裁判所存置並裁判管轄變更ノ件
静岡縣小笠郡掛川町長職務管掌小笠郡書記大庭善吉外七十二名呈出

右ノ請願ハ掛川區裁判所々在地ハ一部分ヲ除ク外管内一般ニ交通便利ナル

ヲ以テ最適當ノ場所ニシテ其ノ管轄地域ハ明治十三年一月開廳ノ時ニ比シ

明治二十三年及同三十三年減縮セラレ今ハ殆ト一半ナ保ツニ過キサルモ裁

判取扱事件數ニ至リテハ反比例ヲ以テ増加シタルニ徵スルモ其ノ區裁判所

ヲ廢スヘカラサルヲ知ルヘシ故ニ之ヲ存置シ且曩ニ藤枝區裁判所管轄ニ移

サレタル榛原郡ヲ掛川區裁判所管轄ニ變更(復舊)セラレタシトノ旨趣ニシ

テ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條

ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年 月 日 貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○伯爵徳川達孝君 此問題ノコトニ就イテハゴザイマセヌガ、大體ニ就テ此際チヨト、先刻モドナタカノ御就ベデ災害旱害地租云々ノコトデゴザイマシタガ此請願ヲ請願委員會デ審査ヲ致シテ……

○議長(公爵徳川家達君) 德川伯爵ニ申シマスガ、モウ其問題ハ……

○伯爵徳川達孝君 之ニ關係シタコトニアリマス、唯例ニ申上ダマスノデアリマス、採擇シタ時分ニハ此貴族院ノ方ニ災害ノ問題ガ來テ居ツタカ居ラヌカ、初メテ明治三十八年二月二十五日即チ今日、コレガ本會ニ出テ否決スルト云フコトハ神ナラヌ身ノ私ハ知リマセヌデゴザイマシタ、デ或ハ本會デ議決シタノト矛盾スルコトガアルカモ知レマセヌガ、其時ハ諸君ノ御判断次第

デ御決シニナルノデアリマスガ、何ダカ委員會デハ好イ加減ニ審査ナシタカト云フ御疑ガアッテハ恐入リマス、曾我サンノヤウナ御注意ハ請願委員ノ一人

トシテ喜ンデ受ケマスコトデ、輕々ニ付セズシテ曾我子爵ノ御注意ノ如クニ最モ鄭重ニ審査ヲ致シタノデアリマス、一言申シテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三十七ノ請願ハ採擇シテ政府ニ送付スルコトニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ左様イタシマス
〔異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三十八、足尾銅山鑛毒地方特別地價修正ノ請願、會議

意見書案

足尾銅山鑛毒地方特別地價修正ノ件

群馬縣新田郡九合村平民竹内要吉外六十二名呈出

同縣新田郡寶泉村平民小谷野善吉外十二名呈出

同縣新田郡毛里田村平民板橋信次郎外八十名呈出

同縣新田郡鳥之郷村平民石倉淺太郎外十七名呈出

同縣新田郡強戸村平民大谷八五郎外百六十七名呈出

栃木縣足利郡筑波村平民農飯田長十郎外二十四名呈出

群馬縣邑樂郡梅島村平民農小磯廣吉外五十八名呈出

同縣同郡大川村平民農對比地政次郎外四十七名呈出

同縣新田郡丸合村平民農和田佐源太外九名呈出

同縣邑樂郡佐貫村平民農齋藤金重郎外三十九名呈出

同縣新田郡寶泉村平民農赤石武一郎外二十六名呈出

同縣邑樂郡高島村平民農相場秀太郎外百三十六名呈出

同縣同郡富永村平民農將田親三郎外七十二名呈出

右ノ請願ハ陳述スルトコロ多少ノ差アリト雖其ノ要ハ同シク足尾銅山鑛毒地ニシテ或ハ特別地價修正ニ漏レ或ハ修正ヲ得タルモ其ノ低減當ヲ得サル

モノアルカ故ニ再調査ヲ爲シテ相當ノ地價修正ヲ施サレタシトノ旨趣ニシ

テ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條

ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年 月 日 貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第三十九、韓國ニ於ケル人命及財產ノ損害賠償ヲ求ムルノ請願、會議

〔異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 意見書案
韓國ニ於ケル人命及財產ノ損害賠償ヲ求ムルノ件

長崎縣長崎市浦上淵平民幸田熊八外十四名呈出

右ノ請願ハ長崎縣平民漁夫村上多作外十四名明治二十九年三月十三日韓國江原道竹邊洞龍喉岬ニ於テ韓國暴民ノ爲虐殺セラル其ノ事實ハ當時我カ日

本海軍大軍醫宮川兵市釜山領事館詰外務省巡査磯村武經其ノ他ノ實地臨檢シタル檢證報告及寫眞ニ詳カニシテ爾後被害者遺族及其ノ雇主タリシ幸田熊八ハ名狀スヘカラサルノ困難ニ陥リ被害以來八星霜之カ賠償ヲ得ムカ爲

其ノ筋ヘ哀訴歎願シタル幾十回ナルヲ知ラス而モ今日ニ至ルモ未タ寸毫ノ賠償ヲ得ス此ノ如キ明確且單純ナル事實ニシテ多年其ノ意ノ達セサルハ請願人等ノ頗ル悲歎スルトコロナルヲ以テ政府ハ速ニ韓國ニ向ヒ之カ賠償ヲ

要求シ請願人等ノ困窮ヲ救ハレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年月日 貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 是モ請願委員長ノ報告通御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ次ノ日程ニ移リマス、議事日程第四十、山林税ニ關スル請願、會議

意見書案

山林税ニ關スル件

神戸商業會議所會頭岸本豊太郎呈出

右ノ請願ハ本邦山林ノ地價ハ概未明治七年前後ニ定メラレ當時其ノ價值未タ重視セラレサルニ依リ實質ノ幾分ニモ足ラサル如キ地券面ノ反別ヲ查定シ而モ低位ニ積算シタル標準地價率ニ由リ其ノ地價ヲ算出シタルヲ以テ現在ノ地價ハ過低ノ甚シキモノナリ按スルニ全國民有ノ森林伐採價格ハ明治三十三年六千參百參拾餘萬圓、同三十四年五千貳百五拾餘萬圓ナリ以テ山

林ニ屬スル收益ノ富饒ナルヲ知ルヘシ然ルニ山林ノ地租ハ政府提案増率後ニ於テモ百五十萬圓弱ニ過キス之ヲ田租ト比シ各其ノ收益ニ對スル負擔額ナ對照セハ山林ハ千分ノ二十五ニシテ田租ハ千分ノ百五十二ニ位ス殊ニ田地ハ收益ヲ得ル爲ニ要スル費用勘シトセス山林ハ其ノ費ス所勘クシテ得ル所多ク其ノ負擔モ亦此ノ如ク輕微ナリ戰費充實ヲ要スル今日ニ於テ之ニ特別課稅ヲ爲スハ最適當ナリト信ス故ニ相續稅法案ノ旨趣ヲ採リ元資ヲ以テ課稅標準トシ一時的課稅ノ制度ヲ設ケ以テ他ノ過重ナル賦課ヲ輕減シ新ナル苛稅ニ代ヘラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモ

ノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治三十八年月日 貴族院議長公爵德川家達
内閣總理大臣伯爵桂太郎殿
○議長(公爵德川家達君) 是モ探擇シテ政府ニ送付シテ御異存ゴザイマセヌカ
○議長(公爵德川家達君) 御異議ガ無ケレバ第四十一ニ移リマス、製茶販路擴張費國庫補助繼續ノ請願、會議

意見書案

製茶販路擴張費國庫補助繼續ノ件

茶業組合中央會議所事務員相澤喜兵衛外一名呈出

右ノ請願ハ茶業組合中央會議所ハ販路擴張費トシテ明治三十年度以來國庫ノ補助ヲ蒙リ努力シタル結果大ニ其ノ效績ノ觀ルヘキモノアリ然ルニ近年印度錫蘭茶ノ如キハ莫大ノ擴張費ヲ投シテ我カ勢力範圍ヲ蠶食シツ、アルノ現況ナリ故ニ今若補助金ノ下付斷絶セムカ先キノ效績ハ半ハ水泡ニ歸スルヤモ計リ難ク且政府獎勵ノ旨趣ニモ戻ルノミナラス國家多端ノ今日ニ際シテハ益く斯業ヲ發達セシメ外資ノ回收ヲ計ラサルヘカラサルノ必要アリト信ス故ニ明治三十八年度ヨリ向フ七年間毎年金七萬圓宛ノ補助金ヲ下付セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ探擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年月日 貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 探擇ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ第四十二ニ移リマス、青森市水道敷設費國庫補助ノ請願

意見書案

青森市水道敷設費國庫補助ノ件

青森市長芹川得一呈出

右ノ請願ハ青森市ハ北海道交通ノ要港タルノミナラス兵營アリテ帝國艦隊モ亦毎年集中シ船舶汽車ノ交通機關モ相俱ニ備ハリ貨物集散旅客來往頗ル

繁盛ノ地ナリ然ルニ本市ノ飲用水ハ有機質ナ含有スル粗惡ナルモノニシテ其ノ量モ亦極メテ僅少ナリ故ニ衛生上及火災消防上ノ危險寒心スヘキモノ

アリ之カ爲ニ市民ハ數年前ヨリ水道ヲ布設スルノ計畫ヲ爲シ市會ハ工費總額ヲ金六拾五萬圓ト豫定シ内參拾萬圓ヲ本市ノ負擔トシ拾五萬圓ヲ縣稅ノ

補助ニ求ムルコトトシ既ニ縣會ノ議決ヲ得タリ依テ國庫ヨリ拾六萬貳千圓ヲ補助セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト

議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 請願委員會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ第四十三ニ移リマス、潮風被害地地租免除ニ關スル請願

意見書案

潮風被害地地租免除ニ關スル件

靜岡縣小笠郡中村村長熊切正次郎外十四名呈出

右ノ請願ハ靜岡縣小笠郡干濱村外十六箇村ハ明治三十六年九月二十三日ノ

潮風害ニ罹リ其ノ稻莢枯凋ノ爲糲ハ悉ク乾涸シ秋收毫モ之ナキニ付明治三

十四年法律第二十七號ニ依リ免租セラレムコトヲ大藏大臣ニ出願シタルニ

該法律ハ適用スヘキニ非ストノ理由ナ以テ其ノ容ルルトコロトナラス惟フ

ニ該法律ハ國法ノ恩典ニシテ潮風被害豈唯リ其ノ特典ニ浴シ得サルノ理アラムヤ今若此特典ヲ得ル能ハサラムカ民力涸渇シ自治制ノ基礎ナ危クスル

ニ至ルヘシ依テ水害ノ場合ト同一ノ特典ヲ得タントノ旨趣ニシテ貴族院ハ

願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○伯爵廣澤金次郎君 今ノ四十三ノ請願ハ此前ノ三十六ト同一ノ理由ナ以テ

採擇セザル方ニ決セラレムコトヲ希望イタシマス

〔賛成ト呼ブ者多シ〕

○議長(公爵德川家達君) 第四十三ノ請願ヲ採擇スペシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第四十四ニ移リマス、鹽取扱所設置ノ請願、會議

○議長(公爵德川家達君) 少數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第四十五ニ移リマス、鹽取扱所設置ノ件

○議長(公爵德川家達君) 廣島縣御調郡貢村平民商原真造外九十一名呈出

右ノ請願ハ鹽專賣法第二條ニ依リ鹽取扱所ヲ設置スルニ當リ其ノ位置ハ必ス收納ト拂下ケトニ海陸運輸ノ便アル地ナラサルヘカラス而シテ備後絲崎港ハ從來鹽集散地ニシテ海陸ノ便ヲ併有スル中國天然ノ良港ナルノミナラス且近傍ニ適當ノ地ナキヲ以テ本港ニ鹽專賣取扱所ヲ設置セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 請願委員會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ議事日程第四十五ニ移リマス、特別地價修正ノ請願、會議

○議長(公爵德川家達君) 三重縣多氣郡五ヶ谷村平民農坂口久米藏外四百二十七名呈出右ノ請願ハ往時櫛田川上流八里餘ノ長距離タル飯高郡粥見村字立梅ニ一大井堰ヲ設置シ灌漑ノ用ニ供シ其ノ改修費ハ藩廳ノ負擔タリシニ地租改正ノ際舊慣ヲ廢セラレ爲ニ過重ノ地價ヲ附セラレタルト同様ノ結果ニ陥レリ即

千爾來毎年平均一段歩金貳圓餘ノ水利費ヲ負擔シタルニ近時ニ至リテハ更ニ物價ノ騰貴ニ伴ヒ金四圓以上或ハ五圓餘ノ多キヲ要シ年ヲ逐テ困難ノ淵ニ沈淪シ良田ヲ變シテ畠地トナシ其ノ負擔ヲ免カレムトスルモノアルニ至

レリ殊ニ明治三十二年全國一般地價地租改正ノ際ニ依テハ累年大藏大臣ニ歎願シ貴衆兩院ニ請願シアルノ事情ヲ洞察シ特別地價修正ノ恩點ニ浴シ得

ヘント信シタルニ一般ト同様ノ處置ヲ蒙リタルニ依リ却テ其ノ負擔ヲ増シタルヲ以テ文化以來舊藩有司ノ丹誠ニ依リ數百人民生計ヲ立テタルノ細煙ハ漸次廢滅ニ歸セムトス故ニ五ヶ谷、丹生兩村ノ地價ヲ特別ニ修正セラレ

タシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 請願委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ次ノ日程ニ移リマス、議事日程第四十六、市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正ノ請願

意見書案

市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正ノ件

山形縣東田川郡大泉村村長伊藤茂吉外二十七名呈出

金ニ對シテハ府縣ヨリ國庫ニ納金スルコトナクシテ獨リ教員ノ恩給ニ對シ

テノミ市町村ヨリ國庫ニ納金スルハ其ノ當チ得サルモノナリ又時勢ノ進進

ニ伴ヒ市町村ノ經費著シク増加スルノ今日苟モ國庫ノ負擔ニ屬スヘキモノハ之ヲ國庫ニ移シ市町村ノ負擔ヲ輕減スルハ當然ノ理ナリ殊ニ之ヲ國庫支

出トナスハ國民教育ノ本義ニ通シ小學校教員優待ノ道ニ合スルモノト信ス

ハ之ヲ國庫ニ移シ全ク國庫支辨ニ移サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院

ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 請願委員長ノ報告通り御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ次ノ日程ニ移リマス、議事日程第四十七、

市町村下都賀郡谷中村強制買收禁止ノ請願、會議

意見書案

埼玉縣北埼玉郡利島村村長石井小太郎外一名呈出

右ノ請願ハ谷中村ヲ貯水地トスレハ水勢上周圍三里半ノ堤防ヲ決壊シ次テ

埼玉縣川邊茨城縣新郷村古川町何レカノ堤防ヲ破壊シ請願人等ノ居村川

邊、利島ハ水底ニ没スルハ勿論延テ埼玉縣東京府ノ沃野ニ及ホスヘシ元來

洪水ノ原因ハ貯水地ナキノ爲ニアラスシテ足尾銅山ノ鑛毒山林ノ濫伐以テ

水源地諸山ヲ禿禿ニスルニアリ故ニ谷中村買收費二十二萬圓ヲ轉シテ堤防ヲ增築シ河身全面ノ大改良ヲナセハ優ニ其ノ災害ヲ防止シテ谷中村ニ於ケ

ル米麥ノ收穫ノミニテモ二十三萬圓餘ヲ得ヘシ故ニ谷中村買收ノ議絕對ニ

禁止セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年月日

貴族院議長公爵德川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 特別委員會ノ議決通り御異存ゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 然ラバ議事日程第四十八ニ移リマス

意見書案

矢作川改修ノ件

愛知縣碧海郡安城村村長大見信三外四十三名呈出(三通)

右ノ請願ハ矢作川ハ三河國三大川中ノ最大流ニシテ五郡ノ地ニ蜿蜒屈曲シ

灌漑ノ利運輸ノ便他川ノ比ニアラスト雖其ノ曲折多キハ則チ水勢激溢洪水

汎濫ノ因トナリ人民ノ損害ヲ來スコト極メテ甚シトス而シテ之カ治水ノ工事ハ從來地方費ヲ以テ營ミ來リタルモ財力足ラサルカ故ニ一時局部ノ繩縫ニ止マリ砂防工事ノ如キハ毎ニ姑息ニ陥リ之カ完然ノ修理ヲ期スルヲ得ス

之カ爲メ水利ハ候忽ニシテ水害ニ變スルヲ常トス依テ國費ナ以テ改修セラレタク第十四回議會以來請願ヲ爲シ毎會兩院ノ可決採擇セラレタルニ拘ラ

ス未タ政府ノ容ルトコロトナラス故ニ速ニ該趣旨ヲ貫徹セシメラレタシ

トノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院

法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○議長(公爵徳川家達君) 是モ請願委員會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ議事日程第四十九ニ移リマス

意見書案

日本海ノ沿岸ニ鐵道敷設ノ件

山形縣東田川郡山添村平民農五十嵐九兵衛外四十九名呈出

右ノ請願ハ日本海ハ風浪常ニ高ク且沿海一帶良港ニ乏シク殊ニ冬季四箇月ノ間ハ殆ト航海ヲ杜絶スルノ狀態ニシテ越羽數十百里ノ地ハ其ノ不便實ニ

言フニ忍ヒサルモノアリ是等交通不便ノ地ニ對シ速ニ鐵道ヲ敷設シテ其ノ缺陷ヲ補フコトハ國家本然ノ責務ナルヘシ殊ニ本線路ハ大阪市場ト北海道

トヲ連結スルトコロノ最捷路ニシテ東海岸線ニ比シ百五十五哩餘ノ近接ヲ

見其ノ工事ノ比較的容易ナルコトハ近ク遞信省ノ調査セラレタルトコロニ

依リ明カナリ加之征露ノ戰雲收マルノ曉其ノ對岸ト密接ノ關係ヲ生スルハ

自然ノ數ナルヲ以テ今日ニ於テ豫メ時機ニ投スルノ道ヲ盡スヘキノ要アリ

故ニ越後國新發田ヨリ羽後國秋田市ニ至ル鐵道ヲ速ニ敷設スルノ方針ヲ確

定セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議

致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○議長(公爵徳川家達君) 是モ請願委員長報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ次ノ議事日程ニ移リマス、議事日程第五十、

小學校教科用圖書翻刻發行規則改正ノ請願、會議

小學校教科用圖書翻刻發行規則改正ノ件

大阪市東區備後町士族出版業石井鈞三郎外十八名呈出

右ノ請願ハ明治三十六年四月二十九日文部省令第二十二號ノ規定ニテハ販

賣業者ハ圖書翻刻發行ノ資格ヲ有セス從テ其ノ得ルトコロノ潤益極メテ尠少ナルヲ以テ自然ノ勢教科圖書ノ販賣ニ冷淡ナリ其ノ結果地方小學ニ於ケル圖書供給上不足遲延等ナ來シ遺憾少カラサルヲ以テ第二條第一項ニ販賣業者ヲ加ヘ且其ノ第二項ニ翻刻發行者ノ資格ヲ所得稅ヲ以テ規定シタルハ

衆議院議員選舉法ニ照スモ其ノ不當タルナ知ル故ニ之ヲ直接國稅三十圓以上ト改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治三十八年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

○議長(公爵徳川家達君) 請願委員長ノ報告通り御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼ブ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ是ニ於テ本日ノ議事ハ終リマシタ、前キニ

御委託ニ相成リマシタ特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔小原書記官朗讀〕

内閣總理大臣伯爵桂太郎殿

外國裁判所ノ囑託ニ因ル共助法案特別委員

子爵大久保 忠順君 子爵鳥居 忠文君 浅田 德則君

男爵西五辻 文仲君 中島 永元君 高木 豊三君

馬屋原 二郎君 児玉 淳一郎君 阿由葉吟次郎君

國稅徵收法中改正法律案特別委員

子爵唐橋 在正君 子爵井伊 直安君 男爵佐野 延勝君

男爵藤大路 親春君 松本 鼎君 富田 鐵之助君

森山 茂君 下村辰右衛門君

所得稅免除ニ關スル法律案特別委員

子爵山口 弘達君 男爵楫取 素彦君 男爵若王子 文健君

西村 亮吉君 岡田 良平君 室田 義文君

秋月 新太郎君 神野 金之助君 中田 清兵衛君

刑ノ執行猶豫ニ關スル法律案特別委員

子爵大田原一清君 子爵入江爲守君

男爵本多政以君 石井省一郎君

富井政章君 菊池武夫君

東京市區改正土地建物處分規則中改正法律案特別委員

伯爵廣澤金次郎君 子爵松平康民君

男爵岡内重俊君 男爵岡内重俊君

男爵松平正直君 柴原和君

下條正雄君 菊池長四郎君

永澤清之助君 男爵平野長祥君

○議長(公爵徳川家達君) 明日ハ本會議ヲ開キマス積デゴザイマス、議事日程ハ決定次第御報告ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會ナ致シマス

午後二時五十八分散會